

2025(令和7)年度

事業報告書

一般社団法人アート・インクルージョン



目次

1. 2025（令和7）年度事業成果と総括	3
2. アートによる自己表現＝創造事業「うみだす事業」	5
(1)障害を持つ人との表現活動：Aiファクトリー運営事業	
(2)こどもとの表現活動	
(3)外国につながる人との表現活動	
3. アートによる交流・協働事業「つながる事業」	20
(1)Aiを拠点とした交流・協働事業	
①Aiオンライン企画	
②Aiオープンスタジオ	
③Ai GALLERYの運営	
(2)地域との交流・協働事業	
①一番町での交流・協働事業	
②長町での交流・協働事業	
(3)他団体との交流・協働事業	
①NPO法人ほっぷの森との連携事業	
②一般社団法人MMIX Labとの連携事業	
③一般社団法人どんまいネットみやぎ、	
みやぎ高次脳機能障害友の会だてすずめとの連携事業	
④NPO法人ふうどばんく東北AGAINとの連携事業	
⑤一般社団法人東北駆け込み寺との連携事業	
⑥株式会社ICHICOとの連携事業	
4. アートによる仕事づくり事業「仕事にする事業」	35
(1)コンテンツ開発	
(2)販路開拓	
(3)七夕プロジェクト	
5. パブリシティとファンドレイジング事業「つたえる事業」	43
(1)公式サイトやSNSを活用した活動の発信	
(2)年次報告書の作成	
(3)募金活動	

1. 2025（令和7）年度事業成果と総括

とらえなおし、方向を見つけて来た2年目

代表理事 門脇篤

2010年にアート・インクルージョンが活動を開始する際、表明したステートメントに、「性別や年齢、国籍、障害のあるなし、アートの知識やスキルのあるなしに関わらず、すべてのひとをアートの持つ力で包み込む社会を目指す」というものがあります。私はこれに賛同し、アート・インクルージョンという活動に参画してきました。

活動から15年、福祉サービス事業所の設立から13年がたち、Aiファクトリーの運営が軌道に乗る一方、学びの多様化や少子高齢化、外国からの市民の受け入れ、懲罰刑から社会復帰の準備期間への刑務所の位置付けの変革など、アート・インクルージョンが当初から射程にしていた領域であって、やっと社会の意識も成熟してきたものや、当初は明確には想定していなかったものについて、改めてもう一度とらえなおし、チャレンジしていくべき時期になってきたと考え、2024年度の事業方針を「とらえなおし、方向を与える」、それにつづく今年度2025年度の事業方針を「とらえなおし、方向を与える2年目」としました。

宮城県・仙台市では障害者ピアサポート事業を始め、当団体でこれを受託、運営していますが、あらゆる障害、難病を超えて横断的に学び合おうというこの非常に画期的な動きに中心となって参画できることは、これまでのアート・インクルージョンの営みの中でも特に重要な動きだと考えています。

同様に、宮城県内を網羅する高次脳機能障害友の会の設立や、県内の高次脳機能障害の当事者を映像で紹介するプロジェクトに参画し、高次脳機能障害という難しい障害を伝え、そのネットワークづくりをしていく上で重要な役割を果たせていると考えています。

仙台市内にできた新しいギャラリー2箇所から、展示企画のサポートや出展をお願いされたり、多文化共生事業にワークショップの企画運営を依頼されたりといった動きもありました。アート・インクルージョンが仙台のアート団体として認知されてきていることを感じさせる動きです。

アート・インクルージョン・ファクトリーを中心としつつ、こども事業や地域との連携事業、研修業務など新たな方向性が着実に芽生えつつある2年目になったと考えています。

世界は人権尊重とインクルーシブ社会の実現に向けて不断の歩みを進めており、そうした歩みは、速度の速い遅いはあれど、今後止まることはないと考えて来ましたが、その一方で、そうも言っていられない状況が世界では起こりつつあります。まさに今現在もアメリカやイスラエル、ロシアなどの影響力を持つ一部の権力者やそれに追随しようとする人々によって、人権尊重という人類の最も価値ある歩みに対する信じられないような愚行と過ちが行われつつあります。

いったいなぜこのようなことがつづくのでしょうか？ 結局のところ、その人がどのような子ども時代を送ってきたかに多くがかかっているように思います。生まれた時から尊重され、尊重し、自分自身であることを肯定され、肯定してきた経験を持った世代を生み出していかない限り、誰しものが等しく人として尊重される権利をもち、誰もそれをないがしろにしてはならないというこの当然の理念が、どこか遠くの実現しない理念にすぎず、この不公正で不平等な世の中を仕方のないものとする姿勢はなくなるのではないかと思います。

アートは、今とは違う世界を想像し、創造していく非常に重要な営みです。私たちの世代はやっとそれに気づき、アートが単に趣味の問題や一部の愛好家のものではなく、社会とながり、社会を変えていく力を持った人間にとってとても大切な営みであることが認知されるに至った世代です。一方で、私たちが育った世界というのは、障害者も子どもも劣った存在とされ、尊重に値しないという考えが大半を占めていた世界でした。そんな世界で生まれ育った私たちが、きちんと子どもや障害者やその他の少数者を尊重し、共生することができるのか。まずその方法を編み出す日々の取り組みからの出発にほかなりません。いまだ私たちの前には、誰もが尊重されるインクルーシブな世界は実現されておらず、今もない。それを実現する方法も本当には知らない。その中で取り組んでいかなければならない。そのときにベースとなり、道標のひとつとなるのが、「アート」ではないのかと私は思うのです。これまでになかったことを生み出すこと。そこにしかアートの価値はないと言ってもいいと思います。今こそ、その価値が試されている時だと思います。

そうした意味で、2023年度から関わっている富谷市でのプレーパーク事業や、今年度からスタートした楽楽楽文化祭の「こども企画会議」は、まだ小さな動きですが、2026年度から始まった富谷市の「ユートミヤ」での取り組みとともに、確実にこれからの歴史を作っていく取り組みです。また、その理論的な根拠となる「子どもアドボカシー」の啓発も非常に重要であり、アート・インクルージョンではそのリーフレットや映像作成など、子どもの人権を考えるためのベースを広めていくことに一定の役割を果たしつつあります。

2. アートによる自己表現＝創造事業「うみだす事業」

(1)障害を持つ人との表現活動：就労継続支援B 型事業所アート・インクルージョン・ファクトリーの運営事業

①総括

2025年度末時点のアート・インクルージョン・ファクトリー(以下、Ai)の利用者数は32名。2025年4月1日には新たに1名のスタッフを迎え、同日に戦災復興記念館で開催したウェルカムパーティに於いて、関係者への紹介を行った。当日はスタッフ・パートナー他、ご家族、講師、相談支援専門員やAiに関わる方々約80名が集い交流した。



新入スタッフ



ウェルカムパーティの様子

また、ご家族との交流として、今年度は家族会を2回開催することができ、ご家族のもつ不安や疑問などを互いに共有し交流する機会へと繋がった。

オンラインでの展覧会、トーク・ライブ企画

昨年度に引き続き平日の開所時間内で月1回開催した。この他、スタッフが提案・企画し、主体となって実施する活動として、駄菓子販売する「たかぴい商店」や「むかし遊びコーナー」「似顔絵」「粘土作品実演販売」「ライブペインティング」「当事者活動紹介」などの企画が数多く実施された。スタッフそれぞれの持ち味や強みを発揮する場のひろがりとともに、地域の方々との交流の機会へと繋がった。



似顔絵コーナー(Ai本祭)



実演販売の様子(Ai本祭)



昔遊びコーナー(Ai本祭)



当事者活動紹介(Aiどんどこ市)



ライブペインティング(お花見マルシェ)



たかぴい商店(お花見マルシェ)

在宅サービス利用

仙台市よりサービス利用の許可を得たスタッフに於いては、引き続き在宅での活動を取り入れた。在宅サービス利用者との連絡には、電話やLINE、zoomを用いてコミュニケーションを図り、本人の希望や体調を細かく把握し、ご家族との情報共有や連携を取りながら支援につとめた。

仙台市のフードドライブ事業

2021年より継続している運搬団体として、毎週月曜日に藤崎百貨店から、2週に1回金曜日に仙台市市民活動サポートセンターからの食品回収をボランティアとして継続している。食品回収には5～6名のスタッフが、賞味期限のチェックにはさらに5名程度のスタッフが参加している。食品ロスへの関心や母子世帯、外国人留学生など、フードバンクを利用する方々が置かれている現状への理解の深まりとともに主体的な関わりが見られた。

当事者活動

引き続きNPO法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会(仙精連)が主体となり、Aiを活動拠点とする交流の場「ピアサポーターの集い」や「仙台当事者研究ネットワーク」、「仙台高次脳機能障害当事者のこえ こーじ号」への参加により、当事者活動への更なる関心の深まりへと繋がった。また仙精連に加入し会員となることで、精神保健福祉に関わる団体との連携へと繋がった。仙台市社会福祉協議会と仙台市障害者福祉協会の事業である企業や市民向けの「仙台市障害理解サポーター養成研修」の派遣講師としての活動にスタッフ1名が参加し、十数回の講師活動を行った。また、令和7年度から宮城県で本格的に導入された、宮城県・仙台市の共催事業「入院者訪問支援事業」において、2名が訪問支援員として活動している。

新たな事業

「令和7年度宮城県・仙台市障害者ピアサポート研修」を実施。宮城県より委託を受け仙台市の協力の元、実施主体として開催した。令和8年度も引き続き委託を受け、開催する。



令和7年度宮城県・仙台市障害者ピアサポート研修企画検討委員

その他

昨年に引き続き、DATENA SENDAI COLLECTIONにモデルとして参加。楽天イーグルスドリームシートでの無料観戦やヴォスクオーレ仙台的無料観戦にご招待を頂き、スポーツにも触れることができた。野外活動として、大年寺山への登山を体験。



DATENA SENDAI COLLECTION

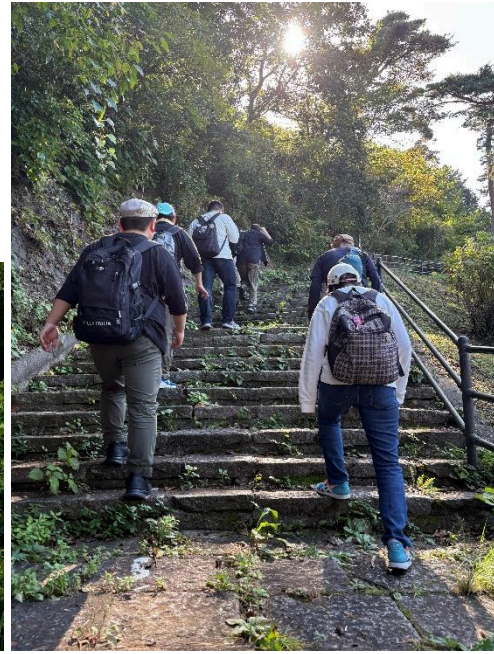
ボランティアの方々によるマンドリンコンサートや、バイオリニスト大曲翔さんによる演奏をAiギャラリーにて行い、音楽芸術に触れる機会となった。



マンドリンコンサートの様子



イオリンコンサートの様子



大年寺山での登山

仙台七夕への参加

七夕飾り制作にはスタッフのご家族やAiの活動にご賛同頂いている地域の方々にご協力を頂き、交流へと繋がった。また例年に引き続き、わたあめの販売を、Ai前および七十七銀行一番町支店前にて行った。



毎年挑戦している宮城チャレンジプロジェクトを実施する赤い羽根共同募金会による募金開始セレモニーに参加。

② Aiファクトリーの運営

2024年度の月別平均利用者数は以下の通り。(通所、在宅の合計)

4月24人・5月22人・6月24人・7月24人・8月21人・9月23人・10月25人
11月24人・12月24人・1月23人・2月21人・3月25人

「プログラム」

パートナーとスタッフでつくるプログラム、外部講師とのワークショップ、Ai主催事業の企画・運営、他団体・地域の主催事業などへの参加を行った。

① パートナーとスタッフでつくるプログラム

- ・朝の会、帰りの会

- ・制作タイム
- ・商品作り
- ・アート・プログラム
- ・コミュニケーション
- ・パフォーマンスデー
- ・映画デー
- ・ステージ練習
- ・女子会、男子会
- ・避難訓練



卸町街歩き



避難訓練(救助袋体験)



避難訓練(救助袋体験)

②外部講師によるワークショップ

- ・手話 (zoom利用)・・・月1回

講師の穀田千賀子氏にご協力頂き、上半期はオンラインでのプログラムを実施。スタッフが手話を日常に取り入れられるように、挨拶や日付などを学んだ。「散歩」「クリスマスソング」などの歌を題材に用いて、楽しく取り組めるプログラム作りにご尽力いただいた。

- ・音楽1・・・月1回

講師の及川久美子氏にご協力いただき、体や顔のこわばりをほぐすストレッチや発声練習を実施。リラックスして参加ができる雰囲気の中、様々な楽器を用いて、リズムを楽しむプログラム作りを実施いただいた。

・音楽２・・・月１回

講師の本郷由起子氏にご協力いただき、発声練習やリズム遊びなど、楽しく参加ができるプログラムを実施いただいた。一人一人の個性やペースに合わせて様々な題材を提案いただき、枠にとらわれない表現の時間作りにご尽力いただいた。

・クレイ粘土・・・月１回

講師の松並京子氏をはじめ、井上節子氏、渡辺久美子氏にご協力いただき、クレイ粘土を使った制作を実施。スタッフとのコミュニケーションを大事にした関わりや、それぞれのスタッフの個性に合わせた細やかな気配りなど、スタッフが安心して取り組める環境作りにご尽力いただいた。制作した粘土作品は、ウェルカムパーティでのブローチやフードバンク東北あがいんでのクリスマスリースワークショップにて装飾パーツとして活用した。

・クリニカルアート・・・月１回

講師の小野寺良枝氏にご協力いただき、スタッフの個性やペースに合わせたコミュニケーションやスタッフが取り組みやすい制作方法を細かく研究いただき、様々な技法を取り入れたプログラムを実施いただいた。

・身体アート・・・月１回

講師の渋谷裕子氏にご協力いただき、ストレッチや体を意識したプログラムを実施。個々の持つ個性や感性を引き出すような働きかけにご尽力いただき、互いの動きを感じ取ること、相互コミュニケーションへと繋がり、表現力を高める時間となった。

・運動の時間・・・月１回

講師としてフットサルチームヴォスクオーレ仙台のコーチにご協力いただいた。ストレッチや筋力トレーニングをはじめ、ボールや障害物を使い、きつ過ぎず簡単すぎない、程よい負荷の運動を行った。スタッフの体力やペース、反応に合わせて、楽しく取り組めるプログラムの考案に尽力いただいた。

・絵本のとびら・・・月１回

講師の村松由里子氏にご協力いただき、毎回３冊の絵本を読んでいただいた。絵本から感じ取った気持ちを皆で共有し、それぞれの視点や価値観に触れる機会となった。

・ダンスの時間・・・月１回

講師の今野慎一郎氏にご協力いただき、２０２４年度からの新プログラムとして導入いただいた。さまざまな曲を流しながら楽しく体を動かし、１年続けた事でスタッフみんなの動きが軽やかになった様子が伺える。

・シルクスクリーン・・・２０２４年より開始

講師の大江よう氏にご協力いただき、シルクスクリーンを活用した商品開発を行った。引き続き２０２６年度も共に商品開発を行っていく。

③Ai主催事業の企画・運営

- ・アート・インクルージョン2025
- ・オンライン展覧会 & ライブ&トーク
- ・Aiどんどこ市
- ・Aiオープンスタジオ
- ・うめえなあ〜お花見マルシェ

④他団体・地域の主催、共催事業、受注作業

- ・みんなのマルシェin ブランチ仙台
- ・ふれあい製品販売会

- ・ Fujisaki Day
- ・ 見本市
- ・ せんだいクラシックフェスティバル展示
- ・ 暮らしの市
- ・ 河原町マルシェ
- ・ 楽楽楽文化祭2025
- ・ とっておきの音楽祭
- ・ DATENA SENDAI COLLECTION
- ・ 東北大学イベント販売
- ・ 東北ダンスフェスティバル
- ・ ダンス デ ダンス
- ・ スロウ日和
- ・ びすた〜り榴ヶ岡での展示・販売
- ・ 仙台七夕わたあめ販売
- ・ ヴォスクオーレ仙台ホームゲームでの出店



東北ダンスフェスティバル



お花見



演劇鑑賞



とっておきの音楽祭2025



(2)こどもとの表現活動

2016年に教育機会確保法が成立。「学びの多様化」という考え方をもとに、フリースクールや多様な学び学校が生まれ、2023年4月には「こどもまんなか社会」の実現を目指してこども家庭庁が発足しました。また、こども食堂、地域食堂、プレーパーク等々、誰にとっても居心地のいいさまざまな「居場所」があることが、普通のことになってきました。これはまさにこれまでアート・インクルージョンが目指して来たアートによるインクルーシブ社会の実現と軌を一にするものです。

まちの中でアート活動を始めた20年ほど前から、私の活動の中心のひとつとして常にありつづけたのも、「こども」でした。まだ十分に社会化されていない段階にある「こども」は、さまざまなことへの興味を失っていないと同時に、それを大人から強制的に制限されてしまう存在でもあります。それへの異議申し立てを表明するのは並大抵のことではありませんが、広い意味でのアート表現というかたちや回路を通じて自分の気持ちを表現することは、比較的ハードルの低い方法であり、さまざまな対話や関係の転換のきっかけになると、これまでの活動の中で実感してきました。近年では、気仙沼市や登米市の小中学校、石巻の居場所などでも効果をあげています。また、アート・インクルージョンとしてもNPO法人ふうどばんく東北AGAINと連携し、23年度よりプレーパーク事業や学習支援、こども食堂事業に参画してきました。

こうした経緯から、障害者総合支援法に基づきつつ、障害の有無をこえたアート活動を行っていく障がい福祉サービス事業「Aiファクトリー」に加え、手帳の有無に関わらず、次世代を担うこどもたちをまんなかにおいたアート活動をアート・インクルージョンの事業として明確に取り組んでいくことを位置付けるため、今年度はこども事業部を設立し、以下の事業を展開しました。

①NPO法人ふうどばんく東北AGAIN（富谷市）との連携事業

・プレーパークの企画・運営

毎週金曜日の富谷市内を巡回するプレーパークや、N1ドームでの夏まつりや街道まつりなど特別企画でのプレーパークに当団体のパートナー菊地桃佳が参画。

4月

4/4 富が丘北部会館（子ども40人くらい+スタッフ4人、高校生2人）
まちカフェとの同時開催。子どもからお年寄りまで集まれる場となった。

4/11 しんまち公園（子ども40人くらい+スタッフ5人）
町下会館方面の子たちも集まり、とても人が集まりました。道具を遊びに展開する子が多く、親の見守りも多い雰囲気。

	4/18 スタッフミーティング@竹の加工大会 今後の確認や日ごろの共有。竹を遊べるところまで加工した。 4/25 成田西公園（15人くらい+スタッフ4人、高校生3人） 風が強く、人が少なかった。まだ虫も少ないので山に登りやすく、クルミ集めやゴミ拾い、公園で"過ごす"ような遊びになった。 
5月	5/2 町下会館（子ども30人くらい+スタッフ4人） 悪天候の為、しんまち公園の予定から町下会館に変更。室内で綱引きや、長いドミノ倒しなどが繰り広げられた。 5/9 成田西公園（子ども40人くらい+スタッフ3人） ありこさんのスライム企画。山が人気でした。 5/16 スタッフミーティング@あがいん 今後の確認や日ごろの共有。 5/23 成田西公園（子ども30人くらい+スタッフ4人、高校生5人） 2週間でもとても草が伸び、山は奥の方までは行けない状態。蛇が出たとのことで今後の対策を考える。暖かくなってきたので、水エリア・シャボン玉エリアもはじめる。
6月	6/6 成田西公園（子ども30人くらい+スタッフ4人） ありこさんのスライム作り、水遊び、ロープ遊びなど。 6/13 町下会館（子ども40人くらい+スタッフ5人） 子ども食堂に食料を提供して下さっているアイリスオーヤマさんから3名取材でいらっしゃる。公衆電話からいたずら電話をし消防と警察が来るハプニングがあったが、それを機に学校の先生と繋がり、次回見に来て頂くことになりました。 6/20 スタッフミーティング@あがいん 夏の予定や今後の共有、大亀山の下見 6/27 成田西公園（子ども30人くらい+スタッフ3人、高校生2人） 水遊び、ボール遊びが中心でした。
7月	7/4 雷雨予想でお休みになりました。 7/11 しんまち公園

	小さい子のために中学年がひたすらバツをつかまえたり、流行りのダンス（ナルトダンス）で大合唱でした。 7/18 成田西公園 心地よい風で滞在しやすい外開催でした。ありこさんのスライム作り、ボール遊びなど。夏休み初日とのことで、早くから子どもたちが集まり始めました。 7/27 あがいん夏祭り 夕方～夜の開催。プレーパークエリアはのんびり過ごしたい人たちが過しました。
8月	8/1 大亀山森林公園 人数が少なめでしたが、のびのびと遊ぶことができました。 8/22 成田西公園 夏休み終盤、早く公園にいた子たちが準備を手伝ってくれました。天気が良かったので水遊びや虫遊び、青空楽器隊などが生まれました。 8/29 成田西公園 バットでとにかく打ちたい人がいたり、水遊びでずぶ濡れになる人がいたり、使えそうな木を探して彫ってみる人がいたり、それぞれの時間を過ごしていました。
9月	9/5 しんまち公園 雨予報でしたが、変わらず子どもたちが集まりました。 9/12 成田西公園 楽器音楽隊や運び屋さんが活動。土遊びも広がりました。 9/19 スタッフミーティング チラシ2種を各小学校に分け作業、ユートミヤの状況報告など。 9/26 富ヶ丘公民館みんなの広場 常連になってきている人たちが車で来てくれたり、知らなかったけどプレーパークに合流した人たちや、「人増やしてくる！」と友達を呼びに行く人もいました。
10月	10/10 しんまち公園 集まる子どもが増えてきました。遊具を運んだり、片付けたり、探したりなどお手伝いもよくしてくれます。 10/12 街道祭り https://jmd2s.cybozu.com/o/ag.cgi?page=BulletinView&bid=25371&gid=&cid=&cp=blc&tp=t&flno=80#Follow 10時から熊野神社境内でプレーパーク、ふるまいなどのこども広場を開催 プレーパークではつみきとおえかき 小学生や未就学児が参加 「もう行くよ！」的な親が少ない印象 1時をすぎておふるまいが終わると人がまばらに 3時くらいで片付け 10/17 成田西公園 みんなで豆を集めたり、ひたすらたんぽぽの綿毛を飛ばしたり、カートをひっぱったりしました。

	10/24 富ヶ丘公民館みんなの広場 学年の異なる子どもたちが最終的に一緒に遊ぶ姿が印象的でした。
11月	11/2 みんなのマルシェ 11/7 しんまち公園 11/14 成田西公園 11/21 JCIクリスマス飾り作り 11/28 富ヶ丘公民館
12月	12/5 町下会館 12/12 富ヶ丘公民館大ホール 12/19 成田七丁目会館 寒い中でも来るいつものメンバーがのんびり時間を過ごしたり、 富ヶ丘ではまだ数回ですが、口コミで遊びに来る人が増えました。
1月	1/9 町下会館 1/16 スタッフミーティング 1/23 成田7丁目会館 1/30 富ヶ丘公民館大ホール
2月	2/6 町下会館 2/7 プレーパーク学習会@しんまち公園 2/13 スタッフミーティング 2/20 成田公民館大ホール 2/27 富ヶ丘公民館大ホール
3月	3/6 町下会館 3/13 成田公民館大ホール 3/20 せかい子ども食堂@町下会館 3/27 富ヶ丘公民館大ホール

- ・ひとり親世帯への学習支援（毎週月曜日）：当団体門協が実施
- ・こども食堂ネットワークの冊子デザイン



- ・「みんなのマルシェ」でのこども向けワークショップ企画・運営
- ・富谷市複合図書館「ユートミヤ」でのクリエイティブ事業実施に向けた連携

2026年5月1日オープンの「ユートミヤ」の指定管理をJCIきつずが受託するため、クリエイティブ部門の連携事業者として企画を作成。同団体は指定管理を受託することとなり、施設内の「そうぞうのおか」でのワークショップ事業をアートインクルージョンとふうどばんく東北AGAINの共同事業として受託することが決まりました。

②「らららこども企画会議」と楽楽楽文化祭2025

仙台市太白区文化センターでの「楽楽楽文化祭」は2018年の事業開始より、「鑑賞型ではなく体験型の文化事業をやりたい」との同センターからの意向を受け、誰でも好きなように参加できる場を目指して企画・開催してきました。

前年2024年のアートワークショップでは、「やりたいこと」を募集し、これをもとに「やること」を準備。来場者がそこからの逸脱も含めて、「やりたいこと」を出した方との「応答」を繰り広げました。

これをもとに、より主体的にこの場にかかわってもらえる方法として、「らららこども企画会議」を考えました。こどもを中心にした方々に、「楽楽楽文化祭」に企画段階から入ってもらい、ワークショップ、マルシェ、ステージ、映像祭のすべてについて、広報や運営などまで参加してもらうことで、本事業を「わたしたちの文化祭」にしてもらおうというものです。

8月から毎月1回、太白区文化センターで開催し、5人のこどもとその保護者が参加。

「ウォーターフォレストの森」を探検し、おばけたちに奪われた「アクアクリスタル」を探す宝探しゲームという案が提案され、「楽楽楽文化祭」をこれまでの1日から2日の開催にし、宝探しゲーム会場をみんなで作るワークショップを行って、最後に宝探しをするという企画になっていきました。こども企画会議中は曲を作ったり、ラジオに出演したり、案内展示をつくり、フライヤーのイラストを描いたり、プロモーションビデオを作ったりしました。



保護者からは「こんなおもしろい事業なのになぜこんなに知られていないのか？」とあれこれ手伝っていただくとともに、こどもの成長についての相談を受けたりしました。

次年度も継続して行い、3年くらいかけてこどもボランティアコミュニティのようなものを作っていけたらと考えています。

③一般社団法人子どもアドボカシーセンターみやぎとの連携事業

子どもたちの権利擁護についての啓発や制度化を進める団体が宮城県にも誕生し、厚生労働省の予算で、同省管轄下の児童養護施設の子どもたち向けのリーフレット「子どもアドボケイトって？」と高学年および大人向けのリーフレット「子どもアドボカシーって？」を、前年2024年に制作しました。

これをもとに短い映像を作れると提案すると、同団体から、こどもたちにアドボケイトについて説明するときにあるといいのではと予算をつくっていただき、富谷のプレーパークに来ているこどもたちに声の出演をしてもらい、「こどものけんりじょうやく」という8分ほどのムービー紙芝居を制作、2026年2-3月にせんだいメディアテークでの「ボーダレス映画祭」で上映しました。今後は子どもアドボカシーセンターみやぎのYouTubeページから公開していく予定です。



④ふとうこうカフェinせんだいみやぎ・ふふふるーむとの連携

仙台市でフリースクールを運営する「ふとうこうカフェinせんだいみやぎ・ふふふるーむ」に門脇が2024年3月から不定期に参加。同年10月から、アート・インクルージョンが倉庫として使用している更生保護施設「宮城東華会」の事務所に移転、場をシェアして使っています。フリースクールは月曜・木曜の週2回開催で、門脇の企画「ボーダレス映画祭」では多様な学びを選んだこどもたちというテーマで映像制作をもらい、せんだいメディアテークで2026年2-3月に上映しました。

⑤一般社団法人りとりととの連携

石巻市で子ども・女性支援を行う「一般社団法人りとりと」が、2024年6月に渡波にある代表兼子佳恵さんの使っていない実家を活用し、拠点「みんなの家」を開設。9月からは毎月1回、門脇がそこへやって来るこどもやご家族とアート活動をしたり、石巻に暮らす外国人の出身地の料理を「世界のご飯」という名前で、作って食べたりしています。本年度も毎月一回開催し、学校以外の学びを選んだ親子や障がいのある子とともにクリエイティブな時間を過ごしました。また、2026年3月には、その拡大版として、「みんなの家食堂」というタイトルで石巻水産振興センターを会場にこどもたちと大規模なワークショップを開催しました。

⑥NPO法人地球対話ラボとの連携

「クラスが荒れている」との話から、2022～24年まで気仙沼の小学校で行なった「気仙沼アート小」は、学校の中に学校ではない場を作るというもので、現在整備が進んでいる「多様な学びの場」そのものでした。その取り組みを知った登米市の小中一貫校から同様の取り組みを行なってほしいとの依頼を受け、2023年に「豊里アート小中学校」を開始。2025年度は門脇が月に1-2回ペースで通い、主に別室登校の小中学生とアート活動を行いました。また、2026年2月に東北駆け込み寺が運営する居場所ギャラリーペルティカで、3月には塩竈市でビルドフルーガスが運営するアート拠点本多工房で、こどもたちの表現を展示する展覧会とアート小中を体験できるワークショップを開催しました。



「学校」という、それを運営する先生方も疑問を感じながらもどうすることもできないという摩訶不思議な制度に意を唱え、立ち向かう子どもたちは、いわば時代の先頭に立って時代を切り開いてくれている存在です。それは障害がある人と言われている人たちが、社会の不備を教えてくれているのと全く同じ構図です。子どもたちの取り組みにどうこたえることができるのか、アートに何ができるのかを不断に問われている思いで参加しています。

(3)外国につながる人との表現活動

①パレスチナ・オリーブと東北朝鮮学校

1948年のイスラエル建国以来、植民地支配がいまだつづくイスラエル・パレスチナで、アラブとユダヤの女性がともに働く場を作り出しているNGO「ガリラヤのシンディアナ」からオリーブオイルほかを輸入し、その活動を支えつづけている仙台の団体「パレスチナ・オリーブ」。2022年に門脇が同団体のサポートを受けて「ガリラヤのシンディアナ」を訪問し、ドキュメンタリー「パレスチナレポート」を制作するなどした経緯から、アート・インクルージョンでは同団体のフェアトレードのオリーブオイルの委託販売を2022年から実施。2023年にはジャーナリストを迎えてのパレスチナについての対話イベントを行ったり、2024年にはパレスチナオリーブ代表皆川万葉さんと兵庫のフェアトレード団体「架け箸」代表の高橋智慧さんによるトークイベント「パレスチナ・ナイト」を開催したりしてきました。

2025年はパレスチナオリーブ皆川さんより、「東北朝鮮学校が60周年を迎えるのでその後援団体になってほしい」との依頼を受け、東北朝鮮学校とも関わりができました。在日朝鮮人は最も身近な遠い隣人とも言えます。今後、さまざまな連携をできたらと考えています。

②フランス人ジョーさんとの交流

2026年2月、東北駆け込み寺での展覧会で偶然出会ったフランス、リヨン在住のフランス人ジョーさん。アート・インクルージョンやカフェテリアオリーブ、本多工房など、仙台界隈のアートシーンや関わっている現場に誘うと気軽にやって来て、やがて毎週のようにアート・インクルージョンで過ごすようになりました。打ち解けていくと、幼少期にネグレクト、ITを学んだが引きこもる日々がつづき、やっと人生を再建するために訪れたのが仙台だったということがわかってきました。アート・インクルージョンは本当に素晴らしい場所だとのことで、どうにかしてビザを取得し、1年程度の日本滞在をし、アート・インクルージョンなどに関わりたいとの希望を受け、準備を進めています。ジョーさんが違和感なくアート・インクルージョンで過ごす姿はまさにインクルーシブな風景が実現されたものでした。

3. アートによる交流・協働事業「つながる事業」

(1)Aiを拠点とした交流・協働事業

①Aiオンラインライブ&トーク

コロナにより、アート・インクルージョンの発信・交流拠点Ai GALLERY・Ai STUDIOの通常運営が難しくなる中、それでも表現したい、発信したいというスタッフからの強い要望により、2020年6月から月1回ペースで試行錯誤を重ね、2025年度末までに64回を数えました。

最初は少数だった出演者もじょじょに増え、それにともなってコンテンツも歌やダンス、トーク、オンライン展覧会、新たな祭りの開催から、制作風景やライブペイント、マルシェやワークショップ会場といったオフラインとの中継、国内外からの映像レポートなど、実に多様な表現からなる企画へと変貌を遂げ、2021年度からは「家族で話そう!」と題し、スタッフのご家族を招いてのトークや、ご家族によるライブ出演、芸術工科大学学生によるショーや週末のオープンスタジオに参加している演奏家、劇団員の出演、「ほっぷの森フェスティバル」との連携配信など、多様な広がりを見せていきました。

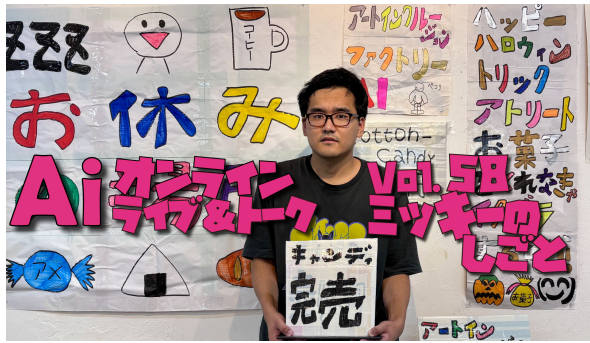
2024年度からは、これまで週末に行なっていた配信日を平日に移して実施。アート・インクルージョン・ファクトリーの日常の活動とリンクすることで、これまで参加しづらかった、あるいはあまり関心のなかったスタッフが参加する場が生まれるとともに、スタッフ以外の人々が配信を機に活動中のアート・インクルージョン・ファクトリーを訪れる契機にもなっています。

<Aiオンラインライブ&トーク開催実績>

配信日	「タイトル」 フィーチャリングアーティスト	アーカイブアドレス リアル個展の開催有無	5/21現在の 再生数
2026/4/30	Vol.43 「春！フレッシュ！スプリング！」 なし	https://youtube.com/live/cm4UZXtLsfw あり	<u>128</u>
2026/5/28	Vol.55 「とうやチャンネル」 小野統也	https://youtube.com/live/WYqlegvr3Qk あり	<u>167</u>
2026/6/23	Vol.56 「プロセカと彰人くんとわたし」 Madofuwa	https://youtube.com/live/fSSRBDvrJbQ あり	<u>368</u>
2026/7/16	Vol.57 「清水敬太のながいながい紙芝居」 清水敬太	https://youtube.com/live/GsUmnGmXLDg あり	<u>145</u>

2026/8/20	Vol.58 「ミッキー展」 ミッキー	https://youtube.com/live/X143WDpAo1Y なし	<u>123</u>
2026/9/20	Vol.59 「Ai2025本祭」	https://youtube.com/live/52GOEAdwyPM あり	<u>360</u>
2026/10/7	Vol.60 「きゅーとりむ」 きゅーとりむ	https://youtube.com/live/5GzfG3tb17w なし	<u>300</u>
2026/11/10	Vol.61 「King.K!!」 King.K	https://youtube.com/live/jwYHGic1G6o なし	<u>177</u>
2026/1/21	Vol.62 「ウィンターアニマル」 アニマルアーティスト	https://youtube.com/live/y4Yzju6fBL8 あり	<u>137</u>
2026/2/25	Vol.63 「ほっぷの森フェスティバル2026」 なし	https://youtube.com/live/sOzsqcHnB3Y あり	<u>105</u>
2026/3/25	Vol.64 「KASUMI展」 KASUMI	https://youtube.com/live/n_poRkv62ks あり	<u>88</u>





②Ai GALLERYでの展示企画

2017年12月の一番町移転を機に、Aiの表現者を中心に、誰でも使える発表および交流の拠点として設けられたギャラリースペース「Ai GALLERY」。2018年3月には最初の企画展として、インドネシアとの交流展である「アチェ＝ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト2017 報告展」を企画。その後、みちか個展「あしたもがんばれます。」（2019年7月）やKing K個展「Welcome to the Passion Room」（2019年11月）などAiの表現者による展示のほか、「成田真梨菜④小野寺純一 FantasticWorld展」（2019年5月）、「開発好明とアート・インクルージョン

の表現者」（2020年1月）など、第一線で活動中の美術家とのコラボレーション展などを企画してきました。

2020年春からは新型コロナの蔓延にともない、ギャラリーも一般公開を中止せざるを得ない状況になりましたが、2023年春からは一般公開を再開。コロナ中に始まった「Aiオンラインライブ&トーク」と連携するかたちで、Aiの表現者たちひとりひとりにフォーカスした展示企画を行なって来ました。2024年からは特定非営利活動法人ほっぷの森による「ほっぷの森フェスティバル」と連携した展示企画も開始しました。

2025年度はアート・インクルージョンの9名の表現者の展示企画を行うとともに、楽楽楽文化祭の関連展示やほっぷの森フェスティバル2026の展示会場としての展示を行いました。

会期を長めに一ヶ月程度とり、それぞれがイメージする展示方法をもとに、本人や他のスタッフ、ご家族とともに設営。Aiオンラインライブ&トークで、作品についての話を聞いたり、ご家族などに聞いたその背景やほかのスタッフからの証言を紹介し、多面的に作品と作者を理解できるような発信を行いました。

<Ai GALLERYでの展覧会開催実績>

企画名	会 期
「カムイ展」	2025/3/26～4/30
「小野統也展」	5/1～5/31
「Madofuwa展」	6/1～6/30
「清水敬太展」	7/1～7/31
「ミッキー展」	8/1～9/10
「きゅーとりむ展」	9/15～10/31
「King.K展」	11/1-11/30
「ウォーターフォレストの森展」	12/1～12/31
「アニマルアーティスト展」	2026/1/5-1/31
「ほっぷの森フェスティバル2026」	2/1-2/28
「KASUMI展」	3/1-3/31



③Aiオープンスタジオ

使っていない週末のアート・インクルージョンの施設を活用し、Aiスタッフだけでなく、あらゆる人にも開放して、「何かをしてもいいし、しなくてもいい」という姿勢をベースにしながら、その場でしか起きえないクリエイティビティを引き起こす仙台におけるオルタナティブなアートの場をつくりたいと始めてまる5年となりました。

アート・インクルージョンの活動に興味を持って見学したいと訪れた人、休みで行くあてがない人、毎月来てゆっくりしていく常連の人、知的障害のある仲良しグループ、児童養護施設を卒業したまに遊びに来る人、バンドの練習をしたい人、アート・インクルージョンを卒業した人、中学生の受験生など、こどもから大人までいろいろな人が参加。

楽楽文化祭の準備のためにこども企画会議のメンバーが集まって制作を行ったり、「Strangers in Sendai」の打ち合わせや試写会を行ったり、高次脳機能障がいの当事者会をオープンスタジオを活用して開いていくことにしたりといった新たな動きも出てきました。

2025年度は月1～2回開催し、毎回数人程度でゆったりとした時間を過ごしました。ドレミ音楽サークルが14:30～19:00でサークル活動をする回もありました。

<Aiオープンスタジオ開催日数・利用者数>ドレミ音楽サークル含む

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催日数	1	2	2	1	2	2	2	1	2	2	1	1	19
利用者数	約30	約30	約30	3	約40	15	9	10	23	13	8	9	約220

(2)地域との交流・協働事業

①一番町での交流・協働事業

❶「Aiどんどこ市2025」

福祉サービス事業所の工賃アップや相互交流を目指し、2012年に錦町公園で始まったのが「Aiどんどこ市」です。2013～17年は仙台放送祭りと共催して勾当台公園で実施し、一番町へ移転した2018年からは、コロナで休止した2020年、サンモール一番町で開催した2021年をのぞき、事業所の前のアーケードぶらんど～む一番町で、マルシェを中心に、ステージやアートワークショップを行ってきました。

2025年度は、福祉事業所や手作り作家、地元企業など30店舗がマルシェに出店。ボッチャ体験やざつ紙工作、給湯器に絵を描く体験なども行われました。

ステージには、山田祥子さんやアートインクルージョンの表現者、ドレミ音楽サークル、ほっぷの卒業生などが出演。タガレンジャー、第501軍団との写真撮影も行われました。

アートワークショップは、会場がフォーラス前で、和霊神社のお神輿が展示されている前だったので、石川法然さんの一番町観音堂のお神輿をつくるワークショップを行い、完成後はみんなでかついでぶらんどーむ一番町を練り歩きました。このお神輿を見たブランチ仙台の方からの依頼で、「みんなのマルシェ」でのお神輿を作るワークショップにつながりました。



②お花見マルシェ

開催日時：2026年3月28日 11:00-15:00

開催場所：ぶらんどーむ一番町

開催内容：福祉事業所を中心としたマルシェ・公開制作・作品展示・アートWS

【マルシェ】22店舗（初めての出店2ブース）

【パフォーマンス】501部隊（スターウォーズ）、あにばる、エモドナル5世

【ワークショップ】King Kの似顔絵、アニマルアーティスト実演販売、妄想エンジン全開娘ライブペインティング、わりばしてっぽう、だかし屋たかピー商店

【その他】ボッチャ体験、フードドライブ

- ・22ブース出店（初めての出店2ブース）
- ・501部隊とぶらんどーむ一番マスコット エモドナルくんの参加により、イベント内の各所にフォトスポットを作る事ができた。
- ・妄想エンジン全開娘のライブペイントで出来上がった作品に買い手がつき、物販ブースとは別に売上になった。
- ・河北新報、NHKでの告知が集客に繋がった。
- ・お客様が足をとめやすいエリアと通過してしまうエリアがあるため、賑わいにバラつきが出てしまった。今後はイベント全体がまんべんなく賑わい作りができるような配置と工夫が必要だと感じた。



②長町でのアート・プロジェクト

①アート・インクルージョン2025

2010年の開始から数えて16回目、15周年記念の開催となりました。2020～21年はコロナのために商店とのコラボレーションは休止。長町駅前広場での「Ai本祭」はマルシェのみを実施し、これと一番町の施設内からのオンライン配信とを組み合わせたハイブリッドで実施しました。2022年度より、長町駅前広場での「Ai本祭」もステージやワークショップを復活させ、商店街とのコラボレーションも再開してきました。

2025年度は9月20日から12月21日までの約3ヶ月間、長町の10会場およびネット上での展示企画を実施。10月3～5日は仙台クラシックフェスティバルとの連携企画として楽楽楽ホールホワイエで5企画の展示を、9月20日には「Ai本祭」として長町駅前広場でステージ、マルシェ、アートワークショップを、長町の賑わい創出社会実験としても行いました。また、6月と11月には長町の西北町内会の町内会長やメンバーに案内してもらい、長町周辺をまちあるきしました。そこでのようすは映像にするとともに、展示企画や楽楽楽文化祭でのステージ企画へと発展していきました。



鎧淵（中世の古戦場跡）



長町、オンラインでの展示企画は以下

会場	アーティスト	内容
食堂びーわん	海魚爬ton	「食堂びーわん」周辺には、橋をかけるために人柱になったという伝説の姫をまつた橋姫明神、東北で最も古い木造菩薩立像がご本尊の十八夜観音堂、昭和43年におもちゃ屋として始まり、駄菓子屋として昨年閉店してしまったハトヤなど、歴史を感じる場所がたくさんあります。これらをイラストにしたものを展示。 また、QRコードからびーわん周辺を西北町内会のみなさんに案内してもらってまわったときの映像「ながまち歴史さんぽ」へ誘導しました。
びすた〜りフードマーケット	Madofuwa	彰人くんとわたし びすた〜りファームや契約農家で収穫された野菜を中心に、からだにいいものを集めたお店に、Madofuwaがこよなく愛する音ゲー「プロセカ」の「東雲彰人くん」と自らのオリジナルキャラクター3点を展示しました。
cafe JHO JHO	まい	まいによる空や月、花などの写真7点を展示しました
赤井沢	Ai	15周年を記念し、2010年のアート・インクルージョン開催時のフライヤーから2024年までのフライヤーや記録写真などを絵巻風に展示しました。
菓子工房セブレ	Saiko	セブレのケーキをSaikoの確かな画力で表現した絵を3点展示しました。
マイムテラス	KASUMI	介護施設に併設された駄菓子屋「マイムテラス」にKASUMIのポップな絵1点を展示しました。
まるしん	ミッキー	野菜果物、魚、肉などを扱う八百ものやまるしんさんに、ミッキーの書体で「もう一品いかがですか」など3点のポップを制作、展示しました。
楽楽楽ホールホワイエ	菊地桃佳	かぶれる音符リターンズ かつて「せんくらといえぱこれ!」と演奏者にも喜ばれた「かぶれる音符」シリーズに新たな音符を追加して、来場者らがかぶって撮影できるコーナーを設置

	石川法然	一番町観音堂せんくら別院 仙台の安寧を祈り、日々、お堂を建立・再建しつづけている石川法然が、せんくら長町会場のために、マリア像をご本尊とする新たな別院「長町カテドラル」を建立しました。
	門脇篤	せんくららら大聖堂 各所でデコってきたプラスチックダンボールを積み上げて、中に入って撮影もできる大聖堂を制作、展示。
	西北町内会×Ai	ながまち歴史さんぽ 長町の西北町内会といっしょに歩いた長町の史跡をめぐるまちあるきのようすを映像と写真、文、地図とで紹介しました。
	コウセイ	平面作品 せんくらからインスパイアされたCGによる平面作品1点を展示しました。
YouTube	yuka*	仙台のローカルアイドルyuka*の「長町レポート、3年目です！」を撮影、配信しました。
	EIKIN	EIKIN TV
	長町電車クラブ (笙YUU、松音くん、カムイ)	高架化にも関わらず、長町で電車の見られる意外なスポットを探るプロジェクト。3年目の取り組み
	西北町内会×Ai	ながまち歴史さんぽ
長町駅前広場	たかピー	たかピー商店を出店
	コウセイ	射的を実施
	門脇篤	4代目長町駅 プラダンプブロックを積み上げて、現在の3代目長町駅の前に「4代目長町駅」を出現させるワークショップを実施。
	Aiファクトリー	ステージ、ファッションショーを実施





②楽楽楽文化祭2025

仙台市太白区文化センターから「鑑賞型の事業はすでにやっているの、そうではない体験型の文化事業をやりたい」「全館を使っての企画を考えてほしい」との依頼を受け、2018年から「まちをつくろう」「ピタゴラをつくろう」などさまざまなテーマや手法を切り口としたアートワークショップを中心に、なるべく全館を使っての企画運営と広報媒体のデザインを行なってきました。その後、ステージにも出演するようになり、マルシェや映像祭も始まりました。さらには2021年から2024年度までは巡回展として仙台市内の他の文化センター3箇所でも報告展示を行いました。

2025年度は、ステージを担当するほっぷの森や虹のさかなプロダクションとも連携し、早い段階でセンター側と意見交換を実施。発信方法を見直したり、ワークショップを2日開催にしたり、ステージでは午前の部を新たに企画したりした結果、前年よりも多くの参加者に恵まれ、企画としても格段に充実したものとなりました。



(3)他団体・地元企業・行政との協働事業

①NPO法人ほっぷの森との連携

「びすた〜り」では長町にあったころより展示場所やステージ発表の場を提供してもらっており、2021年夏からは虹のさかなプロダクション及川久美子氏の企画で開始した「Monthlyコンサート」と合わせるかたちで壁面展示を行なっています。長らくコロナで閉じていたTFU cafeteria Oliveが再開し、2024年4月からは「Monthlyコンサート」の会場が

cafeteria Oliveに移ると、コンサートとのコラボレート展示を行うだけでなく、出展者をコンサートに招待してもらい、コンサート中に展示の紹介をしてもらうようになりました。出展者の多くはご家族が付き添って参加しており、ご家族がスタッフの活躍を目の当たりにする場にもなりました。このほか、長町のびすた〜りフードマーケット、café Jho Jhoでも常設展示の場を提供してもらっています。

2021年からはほっぷの森代表理事の菊田俊彦氏が当法人の理事に就任。一方で当法人の門脇代表理事がほっぷの森理事に就任し、2023年度から始まった「ほっぷの森カレッジ」では副学長を務め、毎月2回、「表現のプログラム」を担当しています。

2023年からは渡辺祥子学長による「Sunday月いちカレッジ」がスタート。貴重な講演を映像で残し、発信していく役割を大塚さんを中心にアート・インクルージョンが担っています。

2024年から始まった「ほっぷの森フェスティバル」にはアート・インクルージョンスタッフが参加したり、Ai GALLERYが展示会場のひとつになったりするなど、継続的にさまざまな連携事業を実施しています。

2025年度にほっぷの森の各事業所で開催した展示企画は以下の通りです。

びすた〜り榴ヶ岡での展示企画

出展者名	会 期
子どもアドボカシーセンターみやぎ展	3/21～5/6
カムイ展	5/7～6/16
Sata展	6/17～9/15
King.Kハンカチ展	9/16～10/29
まい展	10/30～12/4
妄想エンジン全開娘×KASUMI展」	12/5～2/3
ほっぷの森フェスティバル2026展	2/4～3/20
DAIKI展	3/11～4/1

TFU cafeteria Oliveでの展示企画

出展者名	会 期
たかピー展	3/11～4/29
清水敬太展	4/30～5/20
Madofuwa展	5/21～6/17
カムイ展	6/18～7/22

King.K展	7/30～9/2
せんくらノート展	9/3～9/18
みちか展	9/19～10/8
KASUMI展	10/9～11/18
Saiko展	11/19～1/19
稲葉篤志展	1/20～2/6
ほっぷの森フェスティバル2026展	2/7～3/4
Sata展	3/5～3/31

cafe Jho Jhoでの展示企画

出展者名	会 期
Saiko展	3/3～9/7
まい展	9/8～1/28
King.Kハンカチ展	12/15～1/27
ほっぷの森フェスティバル2026展	1/28～

びすた〜りフードマーケットでの展示企画

出展者名	会 期
ほっぷの森フェスティバル2025	1/29～9/7
Madofuwa展	9/8～1/27
ほっぷの森フェスティバル2026展	1/28～

②一般社団法人MMIX Labとの連携

アート・インクルージョン理事で宮城教育大学教授の村上タカシ氏が代表を務め、門脇が代表代行を務める一般社団法人MMIX Labとは新宿スペースゼロでの展示や開発好明氏など美術家を招いてのワークショップや展示など、長年にわたり連携事業を行なってきました。

2024年度に引き続き、2025年度も「アート・インクルージョン2025」や「楽楽楽文化祭2025」に宮城教育大学大学院生がボランティアスタッフとして参画したり、独自の企画を展開したりしました。

また、鳴子にできたゲストハウス「NAAARU」と「narukoko」やそこでのレジデンスの成果を発表した新宿の「スペースゼロ」で、妄想エンジン全開娘のこけしやかっつんの絵画展示、アート・インクルージョングッズの販売を行いました。



③一般社団法人どんまいネットみやぎ、みやぎ高次脳機能障害友の会だてすすめとの連携事業

アート・インクルージョン理事の白木氏、深野氏が理事をつとめるとどんまいネットみやぎが、自賠責保険拠出金事業に助成申請したいとの希望があり、宮城県内に暮らす当事者20人の姿を映像で発信するプロジェクトを企画。採択されたため、6月から撮影を始めました。2025年度内に4名の映像をYouTubeから公開しています。2026年度内に合計で20名の映像を公開し、100名のデータをまとめた報告書を作成する予定です。

この事業を通じて高次脳機能障がい当事者会、家族会と深く関わるようになり、2025年4月に誕生したみやぎ高次脳機能障がい友の会だてすすめには、フライヤーやウェブ作成、SNS運営などでも関わっています。

また、仙台での当事者会「こーじ号」の設立にも場所の提供や広報などでサポートを行っています。



④NPO法人ふうどばんく東北AGAINとの連携事業

①フードドライブの回収とウェブサイトの運営

藤崎デパート、仙台市市民活動サポートセンターのフードドライブの回収をアートインクルージョンで毎週行ない、AGAINへと受け渡しました。

ふうどばんく東北AGAINの公式サイトをアート・インクルージョンが更新しています。

ふうどばんく東北AGAINが事務局を務めるみやぎこども食堂ネットワークのハンドブックをプレーパークに来ている子どもたちとデザインしました。

②とみやっこプレーパーク

2023年度から毎週金曜日の午後、富谷市でAGAINが主催して始まった「とみやっこプレーパーク」にアート・インクルージョンのパートナーが参加し、他団体やボランティアのみなさん、ご家族などとともに、プレーパークの準備や運営、片付け、企画、フライヤーの制作などを行いました。

③みんなのマルシェ

仙台市泉区長命ヶ丘にある複合施設「BRANCH仙台」を会場に、コロナから毎年行なってきたふうどばんく東北AGAINの連携団体が一堂に会し、その活動を伝える発信と交流の場。2025年度は11月2日に開催され、アート・インクルージョンはグッズ販売とお神輿をつくるアートワークショップを実施しました。



⑤一般社団法人東北駆け込み寺との連携事業

2024年暮れに東北駆け込み寺の織笠代表が、いろは横丁で相談事業をやっているが、一階にあった相談スペースを二階に移し、一階は誰でも過ごせる「居場所ギャラリー」にしたいと相談に訪れました。2025年7月にそれがかたちになり、妄想エンジン全開娘展、KASUMI展、King.K展、アニマルアーティスト展を企画開催しました。

じょじょに展覧会を開きたいという問い合わせが集まり、そうした希望のないときにアート・インクルージョンで展示を担当するというスタイルになっています。



⑥株式会社ICHICOとの連携事業

2024年度に引き続き、「宮城県障害者差別のない共生社会推進業務」を受託した仙台の広告会社（株）ICHICOより依頼を受け、ゼビオアリーナ仙台で2月11日に開催の「まぜこぜフェスタ」に、アートワークショップ「まぜこぜの木」を企画運営し、マルシェを出店しました。前年度のほぼ来場者がいない企画に対し、1000人ほどの来場にめぐまれました。



4.アートによる仕事作り事業

この事業は、福祉の現場においてスタッフの造力を活かし、表現活動を通じて「仕事」を生み出すことを目的としている。アートを通じて社会とつながる機会を創出し、制作活動を継続的な収入や自己表現の手段として定着させることを目指している。

アートによる仕事作り事業は、パートナーの佐々木桂を中心に進み、内部のニーズに応える別ベクトルの商品開発が他パートナー達によって独自に展開される様になった。マルシェ・アートプロジェクトの運営を洞口真喜子パートナーが担当し、販売会への出店を各パートナーで分担しながら売上を構築した。

(1)コンテンツ開発

主要商品と成果

- グッズ：プリント額絵、手作りノート、バンダナハンカチ、布小物（バッグ・ポーチ）
- コンテンツ：オンラインライブ、フライヤーデザイン、ウェブデザイン、ワークショップ、配信業務など

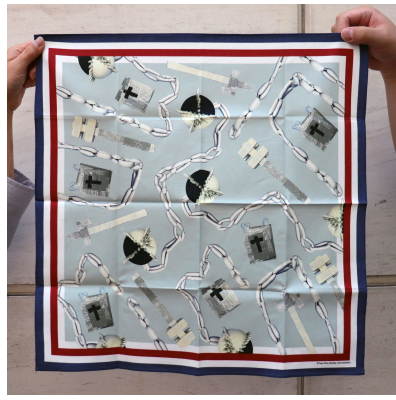
バンダナハンカチ生産体制の構築

2022年度から開発が始まったバンダナハンカチは着実に絵柄を増やすと同時に売り上げも伸ばしてきた。

年2回生産スケジュールを安定させることができた。

職人と企業を繋ぐマッチングサービス「nutte」のサービスに変更があり、気に入った職人へ固定して仕事を依頼することができるようになった。過去マッチした中でもっとも丁寧かつまめな連絡を取れる職人yurie氏へ固定での縫製依頼を開始。

安定して縫製を任せられるようになったことで時間と品物どちらのロスも減らすことができた。



今年度作成したバンダナハンカチの新柄

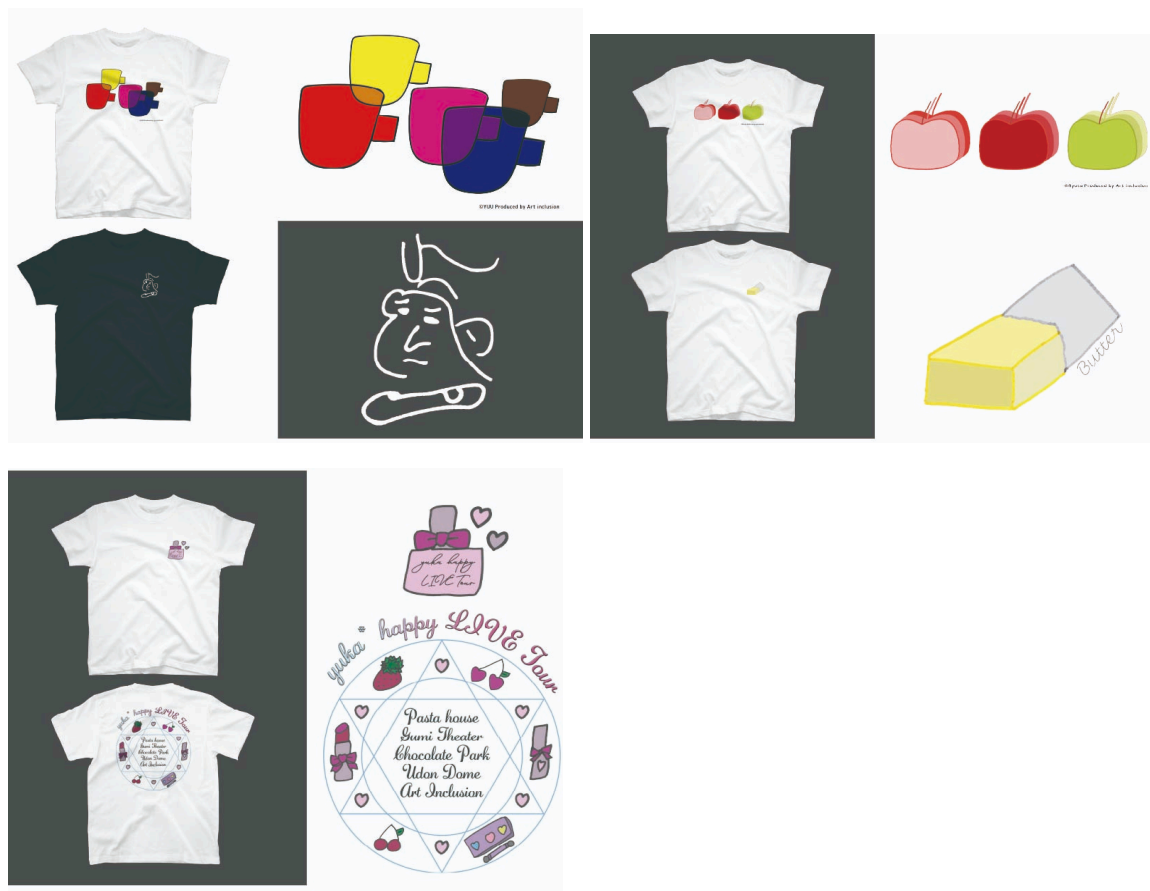
Tシャツ生産がもたらす安心感

昨年に引き続き、SUZURIによる在庫を持たないネット印刷Tシャツはパートナー達が仕事着として、家族が記念品として活用し、1柄につき1〜3枚程度販売した。

自分の制作・作品、ひいては自分自身が認められているという安心感を作り出し、活動の励みになっている。

菊地桃佳によるTシャツの新柄





カラフルわたあめは、今年度も福祉関連のイベントや主催のアートプロジェクトの場で販売を行った。仙台七夕祭りでの出店は、例年は3日間で450個程度売り上げていたが、今年度は280個と大幅な売上減となった。猛暑であること、カップ入りのカラフルわたあめがブームをすぎてスタンダード化してきていること、近隣の携帯電話勧誘が無料の色付きわたあめを提供していたことが原因と推察される。

次年度も猛暑が予測されているため、需要に合わせてわたあめの生産数を調整、他商品の仕入れ・展開を検討することとした。

Aiオリジナルパッケージのマヌカハニーキャンディはレモン・ベっこう・ミルクの3種類に加え、フードマーケットで製造されている干し柿チップ「ほしがきゅ」を販売開始した。

少しずつ食べられる気軽さや食感の良さからリピート購入者が多く好評を得た。初年度のため在庫が少なく販売機会を多く作ることが叶わなかったため、次年度は生産数を増やすべく、フードマーケットと連携していくこととした。

ブランドイメージ向上を目的にスーパーフードや天然素材など体に優しい新たな食品の発掘を引き続き行っている。

(2)販路開拓

主催: Aiどんどこ市 / Ai本祭 / お花見マルシェ / ネットショップ (Aiマーケット、Aiマーケット in SUZURI) / 協力店

その他

- 定期開催イベント： 福の市 / 尼寺販売会 / スロウ日和 / 立町たちのみ
- イベント： 仙台七夕 / コマフェス / Fujisakiday / せんくら / 見本市 /
- 行政による福祉製品販売会： ふれらら / 県庁販売会
- カネイリミュージアムショップ6 (AとW POP UP STORE)
- 下北沢ケアリングマーケット (AとW名義で出店)
- 仙台PARCO東北スタンダードマーケット (わたしのバリアを外すのは、わたしだ。関連企画)
- マリンゲート塩竈 (委託販売)
- カフェテリアオリーブ (買取販売)
- 各種展覧会場など

2025年度の販売会出店一覧

日程	販売会名	場所
4月9日	たかびい商店 (駄菓子販売)	酒のかわしま2号展
5月7日	たかびい商店 (駄菓子販売)	酒のかわしま2号展
5月17日	青葉まつり	ぶらんど~む一番町
6月1日	スロウ日和	ぐりりホール
6月7日	Aiどんどこ市	ぶらんど~む一番町
6月21日	福の市	ランチ仙台
6月25日	たかびい商店 (駄菓子販売)	酒のかわしま2号展
6月29日	川崎神明社	川崎神明社
7月5~6日	マリンゲート塩竈販売	マリンゲート塩竈
7月19日	ぽっけの森 夏祭り	人來田 ぽっけの森
7月27日	あがいん夏祭り	N-1ドーム
7月30日	たかびい商店 (駄菓子販売)	酒のかわしま2号展
8月1日	支援学校フットサル大会	青葉体育館
8月5日~8日	七夕まつりわたあめ販売	一番町
8月9日	クラシタス 福祉イベント	仙台AER
8月23日	たかびい商店 (駄菓子販売)	立町児童館夕涼み会
8月23日	たかびい商店 (駄菓子販売)	酒のかわしま2号展
9月1日	県庁販売会	宮城県庁

9月10日	ふれララ	ララガーデン
9月14日	みんなでしあわせになる祭り	栗駒六日町商店街
9月20日	Ai本祭	長町駅西口広場
9月12日	たかびい商店（駄菓子販売）あまでら境内販売	白萩国分尼寺
9月28日	ウェルフェア	市民ひろば
10月3日～5日	せんくら	日立システムズホール
10月3日～5日	Fujisaki day	八木山動物公園
10月中	AとW POPUP STORE	カネイリミュージアム ショップ6
10月17日～11月3日	わたしの中のバリアを外すのは、わたしだ。POPUP	仙台PARCO
10月20日～23日	ナイスハートバザール	仙台駅構内
10月25日	ぽっけの森	人來田 ぽっけの森
10月25日	スロウ日和	ゼビオアリーナ
11月1日	アクティブフェスタ	国際交流センター
11月2日	みんなのマルシェ	ランチ仙台
11月13日	ふれララ	ララガーデン
11月19日	たかびい商店（駄菓子販売）	酒のかわしま2号展
11月22日	たかびい商店（駄菓子販売）	立町児童館
11月23日～24日	ケアリングマルシェ	下北沢ボーナストラック
12月5日	県庁販売会	宮城県庁
12月8日	たがさば雑貨市	多賀城市市民活動サポート センター
12月20～21日	楽楽楽文化祭	太白区文化センター
1月12日	ヴォスクオーレ仙台販売・就労体験	仙台市体育館
1月17日	「妄想エンジン全開展」	ギャラリーエイト
1月17日～2月4日	きいて、みて、して、見本市	メディアテークオープンス クエア
2月11日	まぜこぜフェスタ	ゼビオアリーナ仙台
2月21日	Nozomi paper factory OPEN Factory!	のぞみ福祉作業所
3月20日	尼寺境内販売会	国分尼寺
3月15日	お花見マルシェ	ぶらんど～む一番町

仙台PARCO2でのポップアップショップは2階フロアの大規模改装によってポップアップスペースが廃止され開催困難となったが、宮城県事業「わたしの中のバリアを外すのは、わたしだ。」関連企画として仙台PARCO本館B1階「東北スタンダードマーケット」にてPOPUPショップを行うことができた。宮城県から今事業を受託している株式会社ICHICOよりPOPショップの取りまとめ業務の委託を受けて、県内の福祉事業所でアートを用いたグッズを仕入れ店頭へ卸した。販売成績もよく、東北スタンダードマーケットにてハンカチを恒常商品として取り扱う方向で調整を行うこととなった。

昨年に続き「カネイリミュージアムショップ6」でのPOPUPのポップアップ出店も好評を得

た。東京・下北沢で開催された「ケアリングマーケット」へは2日間の出店、郵送による搬入出を行った。福祉とデザインへの関心の深い若年層に対し豊かな商品展開を紹介することができ、売上も大きく伸ばすことができた。

同じ時期開催の仙台駅構内で開催されているナイスハートバザールでも多くの顧客に足を止めてもらうことができ、こまめな商品補充のかいもあって売り上げ最高金額を更新した。それでもナイスハートバザールでの販売を得意とする事業所たちよりは売り上げが低い分伸びしろはまだあることがわかった。

マリゲート塩竈では卸売の形で今年度より恒常で商品取り扱いを開始した。少ないながらも毎月3～5枚程度売り上げている。

今後の展望・課題

マリゲート塩竈への卸売は客層へ合わせた柄の提案や在庫の管理など、売上アップに向けて提案方法を検討していく。

一般の店舗への卸売・買取での販売を強化する。

オンラインショップでの販売を開始する。

ナイスハートバザールの主たる購買層である高齢女性に響く商品開発を検討していく。売り場をよりにぎやかにする装飾を検討する。

(3)七夕プロジェクト

昨年購入した骨組みや吹き流しの和紙を流用しながら七夕飾りを手作りで制作した。通常の活動でたくさん生み出されている習作を色分けし吹き流しのメイン部分を制作。薬玉と吹き流しを繋ぐ四角いパーツには妄想エンジン全開娘による宮城のお祭りの絵画を描き下ろした。ディレクションは佐々木桂が担当。

制作費の一部を調達するためにクラウドファンディング（205,000円）を行った。制作にはスタッフの家族や地域の商店も関与し、活動の輪が広がった。

七夕飾りの制作を今後仕事にしていけるように薬玉に特化した花の作り方を徹底するなど実践的な仕事訓練の場ともなった。

今後の展望・課題

家族や賛助会員、近隣の商店などと繋がれる貴重な機会なので、次年度以降も継続して掲示を予定している。描き下ろした宮城のお祭りをテーマにしたシリーズは「お土産ハンカチシリーズ」として商品化。仙台駅や観光地での販売会や、観光地での卸売に活かしていく。

飾りを制作しながらのクラウドファンディングの運営は負担が大きい為、みやぎチャレンジプロジェクトで予算の調達を行った。負担が減った分より作り込んだ飾りを制作して仙台七夕まつりに寄与したい。





仙台七夕祭の様子

5. パブリシティとファンドレイジング事業「つたえる事業」

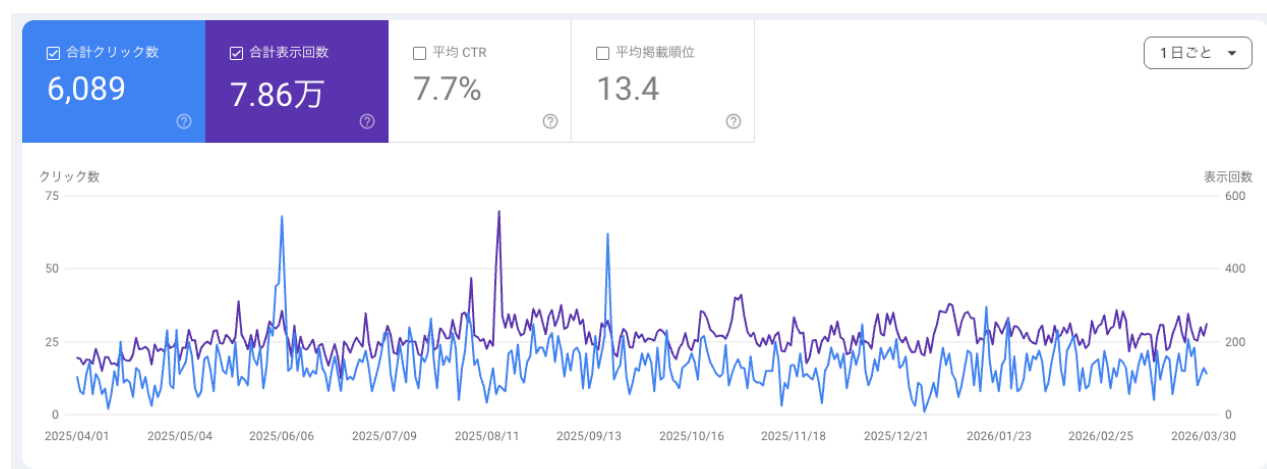
(1)公式サイトやSNSを活用した活動の発信

公式サイトトップページに設置している新着情報をこまめに更新し、アート・インクルージョンの活動について広く伝えていきました。

SNSについては、これまで運営してきたFacebookページ、Instagram、YouTubeに加え、2025年3月からはTikTokの運営を始めました。

YouTubeではフォロワー数が1000人を超えました。

公式サイトのアクセス状況は以下の通りです。



・合計クリック数とは、ユーザーがクリックしてサイトにアクセスした回数です。カウント方法は検索結果のタイプによって異なります。

・合計表示回数とは、ユーザーの検索結果にサイトへのリンクが表示された回数です。この回数の計算方法は、検索結果をスクロールして表示したかどうかに応じて、画像やその他のタイプの検索結果とは異なります。

各SNSのフォロワー、チャンネル登録者数の状況は以下の通りです。

SNS	2026年5月末現在	2025年5月末現在	2024年5月末時点
Facebookページ	1723人	1640人	1633人
Instagram	2236人	1797人	1263人
X	4453人	3383人	3427人
YouTube	1027人	798人	467人
TikTok	372人	428人	-

TikTokをのぞき、着実にフォロワー数が増えています。

YouTubeの視聴回数・時間・新規チャンネル登録者数は以下の通りです。

期 間	視聴回数	再生時間	新規登録者
2025年4月～2026年3月	76.9万回	2021.7時間	+263人
2024年4月～2025年3月	18.3万回	1839.2時間	+273人
2023年4月～2024年3月	1.4万回	653.3時間	+33人
2022年4月～2023年3月	1.3万回	671.8時間	+37人

YouTubeの収益化申請条件は、チャンネル登録者数500人以上、有効な公開動画の総再生時間が過去365日で3000時間以上または有効な公開ショート動画の視聴回数が300万回以上となっており、チャンネル登録者数では達成できているものの、過去365日間の総再生時間3000時間（月平均250時間以上）には達していない状況です。

(2)メディア掲載実績

新聞、ラジオ、テレビへの掲載実績は以下の通りです。

①新聞



▲2025年12月3日 河北新報

②ラジオ

tbcアナウンサーの大久保悠さんが担当するラジオ番組で、ほぼ毎月「アート・インクルージョンだより」というコーナーを設けていただき、10分程度の出演枠をつくっていただきました。

(3)募金活動

赤い羽根共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」では、50万円の目標額に対し、36名から1,042,000円の募金が集まり、最終的には1,442,000円（募金会から50万円の加算金が追加され、事務手数料10万円が差し引かれた）を得ることができました。

(4)年次報告書の作成

2024年度の報告書を作成し、支援者やボランティアの方々に郵送。これによって支援者の方々の信頼と懇意な関係を形づくる予定でしたが、2023年度の報告書は作成できませんでした。2025年度は報告書を作成したいと考えています。

(5)Ai news paperの発行

Aiファクトリーのご家族、Aiサポーターなどヘアート・インクルージョンの活動を伝える広報紙として、「制作班」が発行しているAi news paperを2025年度も毎月発行、送付しました。



Saiko

さいたくん



Ai News Paper

Event & Program

■お花見マルシェの様子

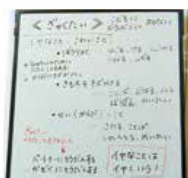


お花見マルシェにたくさんのご来場ありがとうございました。マルシェやストリートパフォーマンスなどで大いに盛り上げてくださり大々感謝です。

■当事者研究全国交流会が開催されました



自分の悩みについて「自分の研究者」として向き合い、仲間や関係者とともに自分に合った「自分の助け方」や「理解」を見出していこうとする「当事者研究」の全国交流会が仙台で行われ、我々も参加してきました。とても有意義な時間を過ごすことができました。



■虐待防止講座

プログラムの時間にパートナーより「虐待防止」の講座を受講しました。『いやなことはいやと』はっきり言うことをが大事ということ、相手のことを思いやりながら自分自身も大切にすることなどを学びました。

■Aiギャラリーでは『カムイ展』が展示中！

【カムイ】いつも元気で明るく、ちゃめっ気たっぷりの彼は少年の心そのままに、いろんなものに興味を持ち、大胆でありながらも繊細な表現力を生み出し、これからの作品も楽しみです。



エーアイニュースペーパー

2025年4月号/vol.73

制作・編集：Aiスタッフ&パートナー
コウセイ、S・i G・M

■『2025年度開所式』開催します。



日時：4/1 (火)

14:00～16:30

受付：13:45～

場所：震災復興記念館

地下1階展示ホール

◀ 昨年の「ウェルカムパーティー」より

これまでウェルカムパーティーとして年度はじめに交流会を開催していましたが、本年度より「開所式」として開催することになりました。日頃よりアート・インクルージョンに関わる皆さまが一堂に会し、交流を深められたらと思います。ぜひ多くの皆さまにご参加いただけますようお願いしております。

■DATE na sendai collection 2025



日時：4/20 (日)

場所：イオンモール新利府

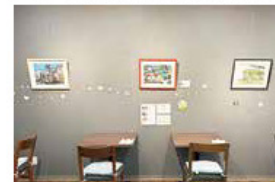
13:00～(1時間程度)

マルシェは11:00～16:00

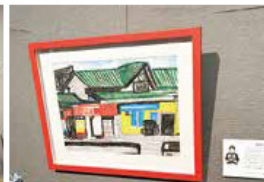
◀ 昨年のランチ仙台での「ダテコレ」より

今回のダテコレは「ダイバーシティ」をテーマに、人種・性別・宗教・価値観などさまざまな異なる属性を持った人々が、共存していく、その多様性をデザイナーとモデルがタグを組んでファッションショーで表現します。

■市内2箇所にて展示中です



▲『Saiko展』@cafe JhoJho



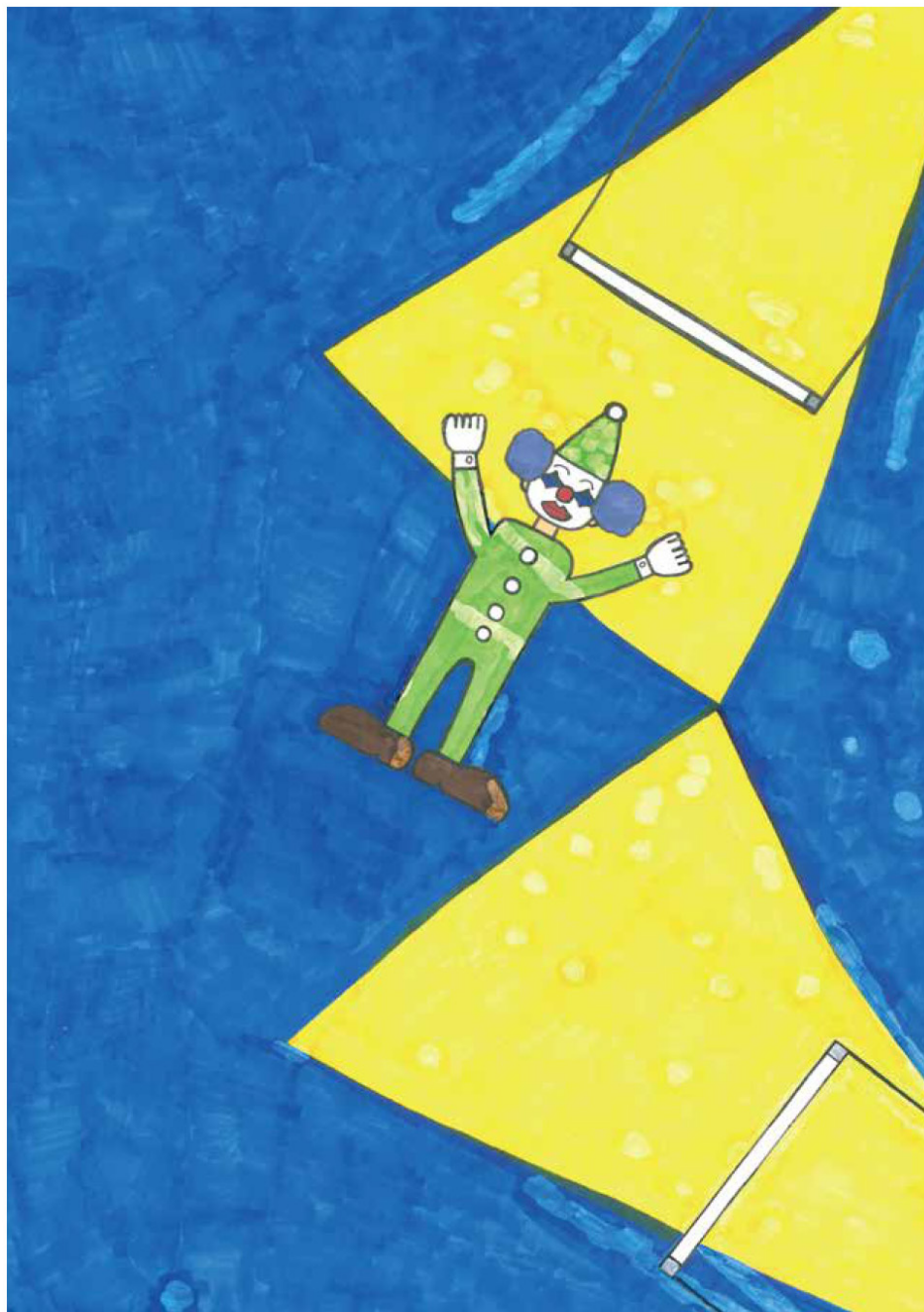
▲『たかぴー展』@TFU cafeteria Olive

■オープンスタジオ

4/6 (日) 11:00～16:00

■オンライン企画Vol.54

4/30 (水) 11:00～15:30



Ai News Paper

Event & Program

■2025年度開所式



仙台市戦災復興記念館にてアート・インクルージョンに関わる皆さまをお招きして、2025年度開所式を行いました。今年度は新たに1名のスタッフが仲間に加わり、歓迎証書の授与、出席した方々の自己紹介の後、歌やダンスで楽しんでいただきました。皆様のご参加ありがとうございました。

■お花見に行ってきました



錦町公園にお花見に行ってきました、見頃の桜がとても綺麗で、おのの撮影したり体を動かしたりして、最後はみんなで集合写真を撮りました。

■DATE na sendai collection 2025



イオンモール新利府で「DATE na sendai collection 2025」が開催された。Aiからは、みさこ、yuka*、EIKI、統也がモデルとして出演しました。

■Cuterem♡が出演します



日時: 5/3 (土) 11:41頃～
場所: 勾当台公園市民広場 入場: 無料
Aiスタッフのyuka*とMadofuwaによるユニット『Cuterem♡』が東北ダンスフェスティバルに出演します。

オモテの写真: 清水敬太

独特なタッチで描く敬太さんの今回の絵はサーカスのひとコマ、ピエロが笑いを誘う演技をしていますね。なんだか愛さが込み上げてくる作品です。

エーアイニュースペーパー

2025年5月号/vol.74

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー
コウセイ、S・I・G・M

■駄菓子屋『たかピー商店』開店してます



日時: 5/7 (水) 14:00～17:00
場所: 仙台市立町「酒のかわしま」前
昔懐かしい駄菓子がいっぱいありますよ。毎月一回開店します。ぜひご来店お待ちしております。

■仙台青葉まつりに出店

仙台の初夏を彩る『青葉まつり』が5/17・18両日に開催されます。Aiでは「ぶらんど〜む」一番町Ai前にて17日のみ出店します。



■『とっておきの音楽祭』に出演します

日時: 6/1 (日) 出演予定スケジュール

11:00～11:30

@サンモール一番町シリウス前 (市川洋一)

12:40～13:10

@宮城県庁前 (AIファクトリー)

13:00～13:30

@AER2階アトリウム (笙YUU)

14:45～15:15

@NHK仙台放送局前 (さんふいっしゅ)

17:00～17:30

@ぶらんど〜む水のオブジェ (yuka*)



※昨年のステージの様子

■『どんどこ市2025』を開催します



日時: 6/7 (土)

場所: ぶらんど〜む一番町

11:00～17:00

一番町のアーケード内でステージやパフォーマンスあり、マルシェにワークショップありと、ぶらんど〜む一番町が賑わいます。年に一度のお祭り感覚の『どんどこ市』。みなさんのお越しをお待ちしております。

■スタッフの作品が展示中です

●『清水敬太展』@TFU cafeteria Olive
4/30 (水)～5/20 (火)

●『カムイ展』@びすた〜り榴ヶ岡
5/7 (水)～

●『カムイ展』@TFU cafeteria Olive
5/21 (水)～6/17 (火)



■オープンスタジオ

5/10 (土)・5/25 (日) 11:00～16:00

■オンライン企画Vol.55

5/28 (水) 11:00～15:30

Ai News Paper

エーアイニューズペーパー
2025年6月号/vol.75



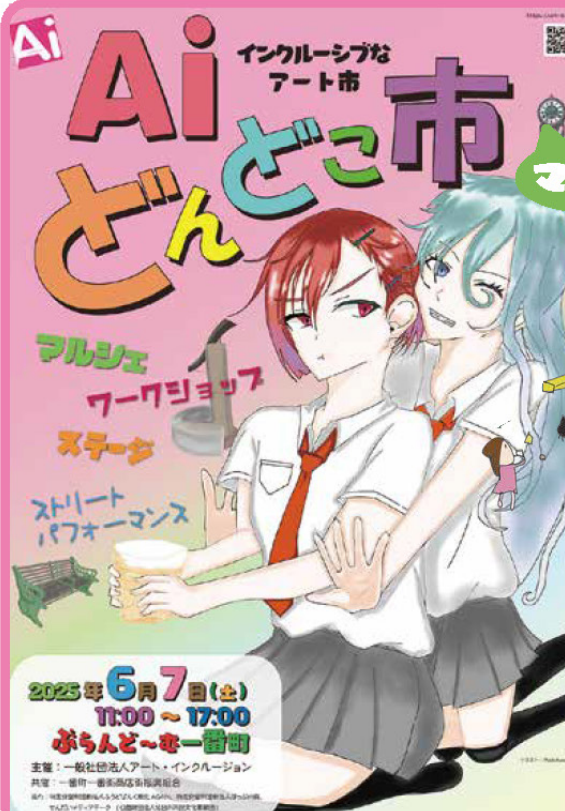
Ai News Paper

Event & Program

エーアイニュースペーパー

2025年6月号/Vol.75

制作・編集：AIスタッフ&パートナー
コウセイ、S・i G・M



Ai インクルーシブなアート市

6/7(土) 11:00~17:00

ぶらんど〜む一番町

マルシェ

ワークショップ

ストリートパフォーマンス

一番町観音堂 みこしを作ろう!

ピックアップ

2025年6月7日(土) 11:00~17:00
ぶらんど〜む一番町

主催：一般社団法人アート・インクルージョン
共催：一番町一番町商店街振興組合

6/7(土) 11:00~17:00

ぶらんど〜む一番町

●山田祥子
仙台市出身のシンガーソングライター

●アート・インクルージョン・ファクトリー
今回も新しいプログラムに挑戦します。

●Hinata (マジシャン) ほかに多数出演
宮城の新米マジシャン。

ワークショップ

●ポッチャ体験
楽しくポッチャ体験をしよう!

●壁面制作
給湯器になんでも描いてしまおう!!

●雑がみ工作
包装紙やお菓子の空き箱で工作。

●バスボン作り
他にもバスソルトなどを作りますよ。

●スノーボール作り他
スノーボールやボールペンを作ります。

ピックアップ

●駄菓子屋「たかびー商店」
子ども大人もみんな大好き
駄菓子屋が一番町に開店します。

●「アニマルアーティスト」のクレイアート
アニマルアーティストによる公開制作、
販売。リクエストにもこたえます。

●「King.K」の似顔絵コーナー
毎日、修行僧のようにデッサンに
勤むKing.Kがあなたの
似顔絵を描き下ろします。

第501軍団や
動物の着ぐるみ
「あにばる」に
出会えたらラッキー!!

■東北ダンスフェスティバルに初登場!!



多数の応援団も駆けつけ、堂々とデビューを飾ったcuteream♡、今後の活躍にも目が離せません。

■仙台青葉まつりに出店しました



AIではカラフルわたあめとミニノートを販売しました。スタッフ数名が山車に乗せていただきました。

■「とっておきの音楽祭」見に来てください

6/1(日)に開催される「とっておきの音楽祭」に出演します。
AI関係の出演スケジュールは5月号(Vol.74)をご覧ください。

オモテの写真:

現在、AIギャラリーで展示中の「小野統也」の作品です。モンスターやゲームのお気に入りのキャラクターを普段は描いているが、最近では立体模型の組み立てやゲームの影響で競走馬の絵も精力的に描いている。



そして、6月には絵はもちろんのこと、歌やダンスパフォーマンスにも力を発揮している「Mado fuwa」の個展をギャラリーにて予定しています。

■スロウ日和が開催されます 入場無料 雨天決行



6/1(日) 10:00~17:00

場所：kfb東日本放送局
ぐりりホール

多様な業種の60店舗が集結!スロウ日和の過去最大級マルシェが開催されます。

■「福の市」in BRANCH仙台



6/21(日) 10:00~17:00

場所：BRANCH仙台

福の市が初のランチ仙台で開催されます。お近くにおいでの際はぜひお越し下さい。

■オープンスタジオ

6/21(土)・29(日) 11:00~16:00

■オンライン企画Vol.56

6/23(月) 11:00~15:30



Ai News Paper

Event & Program

■とっておき音楽祭



▲Aiファクトリーのみんなカッコいい!



▲市川洋一

▲笙YUU

▲yuka*

▲加藤育央
(サンファイッシュ)

■どんどこ市、大盛況にて終了



おかげさまで今年もたくさんの方に会場いただきありがとうございます。そして、暑い中、マルシェやステージなどストリートパフォーマンスで盛り上げてくれた皆様にも大々感謝です。

■フライングディスク大会にて入賞



第33回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会兼第24回全国障害者スポーツ大会(滋賀)選考会のフライングディスクの部でAiスタッフの加藤育央さんが3位に入賞し、メダルが授与されました。おめでとうございます。

オモテの写真:カムイ

Aiでは普段からちゃめっ気たっぷりの彼はダンスが得意で、描く作品は抽象的なものから可愛いものまで多種多様な作品を描いているパフォーマー兼アーティストです。現在オリープにて作品展示中。

エーアイニュースペーパー

2025年7月号/vol.76

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー
コウセイ、S・I・G・M

■マリゲート塩釜販売会



7/5(土)・6(日) 10:00~15:00

場所: マリゲート塩釜

Aiでは2日間とも、アートグッズの販売などで出店します。塩釜の風に吹かれながらどうぞお立ち寄りください。

■「ワンダフルワンダー展」を開催



7/7(月)~8/31(日)

10:00~16:00 場所: いろは横丁

東北駆け込み寺内に「ペルティカ」(居場所)が7日にオープン。期間内では妄想エンジン全開娘さんの作品が展示されます。

■「ワイワイ!ガヤガヤ! あたふたと賑わう yoshieさんと仲間達とのコラボレーション」作品展が開催されます。



7/23(水)~29(火)

10:30~17:00

場所
TFU カフェテリアオリーブ

講師の小野寺良枝さんとAiスタッフのコラボ作品も展示されます。



■たかぴー商店

7/30(水) 14:00~17:00

場所: 酒のかわしま立町店

あの伝説の駄菓子屋ハトヤの意志を受け継ぎ、駄菓子を食べながら集い遊べる出張だかし屋「たかぴー商店」をやっています。みんな待ってます!!



■宮城県障害者ピアサポート研修が始まります

自らの経験を活かしながら、対等な立場とともに考えるピアサポーターや障害福祉サービス事業所の管理者等の養成する研修が始まります。

詳しくはこちら▶

■オープンスタジオ

7/12(土)・27(日) 11:00~16:00

■オンライン企画Vol.57

7/23(月) 11:00~15:30



Ai News Paper

Event & Program

■「PERTICA (ペルティカ)」がオープン



仙台いろは横丁にある、あらゆる悩みを抱える人に寄り添い、相談者と一緒に悩みの軽減に取り組む「東北駆け込み寺」に、「止まり木」のような居場所ギャラリーがオープンしました。8月中はスタッフの「妄想エンジン全開娘」の作品展示しております。特に悩みがなくともふらっと立ち寄るのもいいかもしれません。

■「ワイワイ!ガヤガヤ! あたふたと賑わう yoshieさんと仲間達とのコラボレーション」作品展の見学に行ってきました



みんなの作品が「カフェテリア オリーブ」の空間にマッチしてレストランの雰囲気と相まってより一層引き立って見えました。

■仙台七夕まつりに参加します



▲写真は昨年の七夕飾り

毎年8月6～8日まで開催される恒例の「仙台七夕祭り」今年もAiスタッフたちの作品が七夕飾りを彩ります。見学の際は着さに気をつけて、是非立ち止まってみてください。なお、わたあめ販売はAiファクトリーがあるスズキアバンティビル前と七十七銀行一番町支店前で販売します。皆さんのお越しをお待ちします。併せて、現在、クラウドファンディング挑戦中です。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

クラウドファンディングの詳細はこちら▶



オモテの写真: ミッキー

漢字や熟語など文字をカラフルに創作するのが得意で日曜のように生み出されていく。8月のAiギャラリーでの展示が予定されている、ミッキーの新たな作品が、どんなものが出てくるのか今から楽しみです。

エーアイニュースペーパー

2025年8月号/vol.77

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー
コウセイ、S・i G・M

■「ちがいをたのしむフェスタ」に出店します



8/9 (土) 10:00～16:00

場所: アエル2階 アトリウム

リフォームやリノベーションの「クラシタス株式会社」が主催の障がい・福祉分野関係の企業・団体によるワークショップ&マルシェが開催されます。いろんな展示やAiでは出店もしていますのでお立ち寄りください。

■「らららこども企画会議」が始動します



第1回
8/18 (月) 10:00～12:00

場所: 仙台市太白区文化センター

太白区文化センターで毎年開かれていた「楽楽楽文化祭」の企画と一緒に考える「らららこどもボランティア」の参加による1回目の企画会議が8月から12月の開催日まで月1回のペースで実施します。

■「センターまつり2025!」に参加します



8/31 (日) 10:30～14:30

場所: 宮城県障害者福祉センター

ステージ鑑賞や屋台(キッチンカー)、各種コーナー体験などを行います。Aiではアートグッズの販売やワークショップで参加します。皆様のお越しをお待ちしています!

詳しくはこちら▶



■宮城障害者職業センター内にて作品展示

8月下旬より1年間、Aiスタッフの作品が建物全体をアートにします。日頃から殺風景な室内が作品の展示によって彩りを与えてくれます。お近くのおいでの際はぜひご覧ください。

■オープンスタジオ

8/9 (土)・17 (日) 11:00～16:00

■オンライン企画Vol.58

8/20 (水) 11:00～15:30



夏休みのお知らせ 8/13 (水)～17 (日)



Ai News Paper

Event & Program

■「アート・インクルージョン2025」開催



ありがとう!15周年記念

2010年に長町で始まったアートプロジェクト「アート・インクルージョン」は今年で15周年を迎えます。地域の魅力や発掘をしながら、性別や年齢、国籍、障害やアートのスキルのあるなしに関わらず、アートによって自分を表現し、社会とつながっていく取り組みを作ってきました。このような活動はますます必要とされています。皆さんのご来場をお待ちしております。

オープニング
イベント
Ai本祭

9月20日(土) 11:00~20:00
長町駅西口広場公園

ステージやマルシェ、ワークショップなど開催します。

今年は「長町賑わい創出社会実験 NAGAMACHI PLACE MAKING CHALLENGE 2025」の一環として20時まで実施します。



当日は
オンラインにて
配信します



まちの
コラボ企画
Ai Months

9月20日(土)~12月21日(日)
長町エリア約10ヶ所



長町エリア一帯が『Ai Months』にて彩ります。上記のマップ内のお店にスタッフの作品が展示されていたり、太白区文化センター主催の『楽楽文化祭2025』とのコラボなど多種多彩なイベントが12月まで開催されます。



オモテの写真: Aiオリジナルの七夕飾り

伝統×アート×福祉×再生を融合し、地域やアーティストたちの魅力を発信するプロジェクトとして、アート・インクルージョンでは、オリジナルの七夕飾りを5基制作しました。皆さまの多大なご協力ありがとうございました。

エーアイニュースペーパー

2025年9月号/vol.78

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー

コウセイ、S・i G・M

■「ふれララ」に出店します



9/10 (水) 10:00~18:00

場所: ララガーデン長町 1F

市内の障害福祉サービス事業所で障がいのある方が製作した「ふれあい製品」を販売いたします。Aiでは9/10のみの出店です。

詳しくはこちらから▶



■「らららこども企画会議」2回目を開催します



第2回 9/20 (土) 11:00~

場所: JR長町駅前広場

太白区文化センターで毎年開かれている「楽楽文化祭」の企画と一緒に考える「らららこどもボランティア」の参加による企画会議が12月の開催日まで月1回のペースで実施しています。当日はアート・インクルージョン2025が開催されます。

■福祉まつり「ウエルフェア2025」に出店します

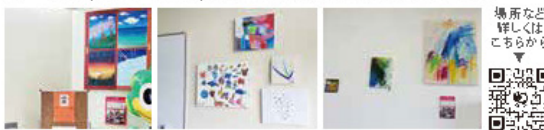
9/28 (日) 10:00~15:00

場所: 勾当台公園・一番町四丁目買物公園

Aiはアート雑貨の販売を出店のみで参加します。皆さんのご越しをお待ちしております。

■宮城県障害者福祉センターがギャラリーに…

宮城県障害者福祉センターの建物がAiスタッフの作品でアートギャラリーになりました。(仙台市宮城野区幸町4-6-2)



場所など
詳しくは
こちらから▶



■「かつつんとむっちゃん二人展」を開催しています



いろは横丁にある東北駆け込み寺主催のギャラリー「ペルティカ」にて「かつつんとむっちゃん二人展〜青と赤と満月と新月と〜」が開催中です。

■オープンスタジオ

9/15 (月/祝)・28 (日) 11:00~16:00

9月のオンライン企画は20日(土) 11:00~
Ai本祭を長町駅西口広場よりライブ配信します。



Ai News Paper

Event & Program

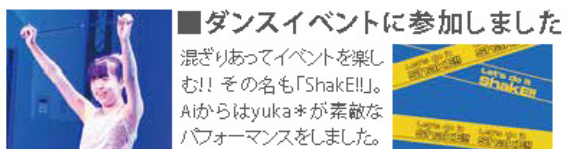
■「アート・インクルージョン2025」本祭の様子



■cafe JhoJho

■びすたへりフードマーケット

■菓子工房セブレ



■「フジサキデー2025」が開催されます



10/4(土)~5(日)

9:00~16:45 (入園は16:00まで)

場 所: 八木山動物公園フジサキの杜



エーアイニュースペーパー

2025年10月号/vol.79

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー

コウセイ、S・i G・M



■「卸町マルシェ」に出店します

10/18(土)・19(日)

9:00~16:30 9:00~15:00

場 所: 卸町サンフェスタほか

卸町サンフェスタを会場に各問屋店舗も一般開放され、街全体がイベント会場になります。



■「川崎神明社」マルシェに出店します



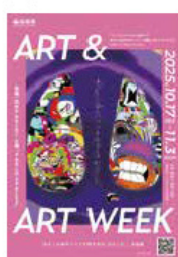
10/19(日) 10:00~15:00

場 所: 川崎神明社(柴田郡川崎町)

農作物の収穫に感謝するとともに地域の活性化をもちあげようと川崎町前川の神明社境内にてマルシェが開催されます。



■「ART & ART WEEK」作品展が開催されます



10/17(金)~11/3(月・祝)

場 所: 仙台PARCO1

社会の中にあるさまざまな心の中のバリアを外すきっかけとなるアート作品の展示会です。AiからはKing.Kの作品展示。18日(土)14:00~はAiフアクトリーとかつんのパフォーマンスの出演やアートグッズの販売があります。



■「ナイスハートバザール」に出店します



10/20(月)~23(木)

10:00~20:00 (最終日は19:00)

場 所: JR仙台駅2F 中央改札口

障がい者福祉事業所のつくるとっておきの商品が一堂に介して仙台駅での販売会です。ぜひお立ち寄りください。

■「スロウ日和」に出店します

10/25(土)

10:00~16:00

場 所: ユアテックスタジアム仙台



■「ぼっけの森」イベントに出店します

10/25(土)

11:00~14:00

場 所: ぼっけの森



■オンライン企画Vol.60

10/7(火)

11:00~15:00

■オープンスタジオ

10/13(月/祝)・25(土) 11:00~16:00

Ai News Paper

エーアイニューズペーパー
2025年11月号/vol.80



アートな「バンダナハンカチ」



Ai News Paper

Event & Program

■大年寺山公園を散策しました



仙台の情報誌「りらく」で連載している登山家深野稔生さんの指南のもと太白区にある大年寺山に登ってきました。歴史を学びながら植物との出会いや市街地が一望できるスポットなど、天気にも恵まれ、みんなで楽しくハイキング気分が散策することができました。

■「わたしの中のバリアを外すのは、わたしだ。」



PARCOにて開催されたLIVEイベントに招待され出演しました。左の写真はかつんのソロ演奏と、King.Kの作品展示写真です。

■PICK UP アートな『バンダナハンカチ』

販売当初から、人気商品の一つとなっているAiオリジナル『バンダナハンカチ』。スタッフの描いた絵がバンダナサイズのハンカチになりました。本誌では新作も含め数種類のハンカチを表紙として紹介。いち推しのアーティストやお気に入りのデザインを見つけたら、数に限りがありますので、ぜひ手にとってお買い求めいただけたら嬉しいです。

エーアイニュースペーパー

2025年11月号/vol.80

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー

コウセイ、S・i G・M

■「ナイスハートバザール」に出店しました



10/20〜23日に開催されました「第19回ナイスハートバザールinせんだい+ノフクマルシェ」にて販売しました。なかでも、表紙で掲載しているハンカチの評判がよく、売れ行きも好調で大変ありがとうございました。

■「みんなのマルシェ」に参加します



11/2(日) 11:00~16:00

場所: ブランチ仙台

こどもまんなかやってみた

①アートワークショップみこし対決!

おおきなみこしを2つ作って対決させよう!

②遊び場

とみやこプレーパーク、昔遊び+による遊び場

③駄菓子屋 かなへび堂

富谷市成田でたまーにやっている幻の駄菓子屋が1日限定でOPEN! 店長は大きくて優しい高校生です。

みんなのマルシェ名物!
コラボ型子ども食堂

こどもまんなか
トークセッション

◎ロング巻きずし体験

時間: 12:00~13:00

場所: まちづくりスポット仙台

みんなで100人前の巻きずしをいっせいに作ります。

◎おかず提供

時間: 12:00~

場所: まちづくりスポット仙台

ブランチ仙台にある各飲食店からおかずをいただき提供いたします。

いろいろな学生団体が【やってみた!!】を発表し、その内容をもとに子ども家庭庁、あがいのメンバーとトークセッションします。

七夕飾り展示

今年夏、Aiが七夕飾りに掲出した七夕飾りを展示します。



■居場所ギャラリー「ペルティカ」にて「King.K展」が開催



11/1(土)~30(日)

13:00~18:00

場所: 東北駆け込み寺
(いろは横丁内)

市民ボランティア相談員が、あらゆる悩みを抱える人に寄り添い、一緒に悩みの軽減に取り組む「東北駆け込み寺」。止まり木のような居場所ギャラリー「ペルティカ」にてKing.Kの作品を展示します。ぜひお気軽にお立ち寄りください!

■オンライン企画Vol.61

11/10(月)

11:00~15:00

■オープンスタジオ

11/23(日)

11:00~16:00

らららぶんかさい

楽楽文化祭 2025

参加無料

たのしいこと いっぱい!!

コンサート ※12/21 のみ開催

アートワークショップ

ギター・ウクレレワークショップ ※12/21 のみ開催

映像祭

マルシェ

2025年
12月20・21日
10:00 スタート
太白区文化センター

仙台市太白区長町5-3-2
地下鉄南北線長町駅 同1番出口直結
※専用駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

主催 公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 仙台市太白区文化センター
共催 一般社団法人アート・インクルージョン 特定非営利活動法人ほっぷの森
後援 仙台市・河北新報社・khh 東日本放送・tbc 東北放送
問合せ 仙台市太白区文化センター 022-304-2211



Ai News Paper

Event & Program

■「楽楽楽文化祭」が開催されます

12/20 (土)・21 (日) 10:00～

場 所：太白区文化センター

12/20(土)・21(日) 10:00～15:00

3階
大会議室

楽楽楽多文化映像祭

多文化共生をテーマにした映像作品を上映します。

地下1階
展示ホール

アートワークショップ

**アクリスタルを取り戻せ！
ウォーターフォレストの冒険**

巨大な宝探しめいろを2日間かけてみんなで作り、できあがったら最後にそれで遊ぶという気の長いアートワークショップです。

12/21(日) 10:00～

2階
楽楽楽
ホール

冬のひだまりコンサート

お子様からご年配の方まで、安心してどなたでも楽しめるコンサートです。

【午前の部】11:00～12:00

- クラシックギターアンサンブル・オレンジ
- 篠笛教室 Hyalala
- レハナオリエンタルダンス (ベリーダンス)

【午後の部】14:00～15:30

- ゆりかご認定こども園 (合唱)
- アート・インクルージョン (パフォーマンス)
- クラシックコンサート
中澤香織 (ソプラノ) 丹野富美子 (マリンバ)
及川久美子 (ピアノ)
- ジャズステージ
廣海大地 (サクソ) 大垣涼太 (ギター)
- フィナーレ

ホワイエ

楽楽楽マルシェ! 10:00～15:30

手作り雑貨やこだわりの食品、食材など
楽楽楽なマルシェを開催します!
飲食ブースもあります。

リハー
サル室

小関佳宏のギター・ウクレレ

体験ワークショップ 12:00～12:30

初心者向けの体験ワークショップを開催。
どなたでもお気軽にご参加ください。

■みんなのマルシェに参加しました



ふうどばんく東北AGAIN主催の「みんなのマルシェ」が開催され、多彩な体験ブースがあり、ロング巻き寿司作りやワークショップでは完成したお神輿で会場を練り歩き、遊びと学びが詰まった楽しい一日となりました。参加者した子供たちの笑顔が印象的でした。

エーアイニュースペーパー

2025年12月号/vol.81

制作・編集：AIスタッフ&パートナー
コウセイ、S・I・G・M

■ファミリーミュージカルを観劇してきました



日産労連「ゆうらいふ21」の活動で行われたクリスマスチャリティー公演に招待され、劇団四季の『カモメに飛ぶことを教えた猫』を観てきました。猫とかもめの友情を描いた心温まるお話で、自分の殻を破り、勇気を出して一步を踏み出し成長していく姿に、勇気をもらいとても感動しました。素敵な時間をありがとうございました。



■もりのみやこの ふれあいコンサート

12/3 (水) 14:00～

場 所：イズミティ21

仙台フィルハーモニー管弦楽団による本格的なオーケストラの演奏を鑑賞します。

■「働く障害者ふれあいフェスティバル」出店します



12/5 (金) 10:30～14:00

宮城県庁1階ロビー

新作もちらほらありますよ。ぜひ手にとってご覧くださいませ。お待ちしております。

■「みんなでつくるクリスマス雑貨市」出店します



12/14 (日) 9:30～15:00

多賀城市市民活動サポートセンター

みんなが輝ける、インクルーシブで楽しい一日を過ごしましょう。

■「アニマルアーティスト展」が開催

12/1 (月)～27 (土) 13:00～18:00

東北駆け込み寺 (いろは横丁内)

「東北駆け込み寺」内のギャラリー「ペルティカ」で、「アニマルアーティスト」の作品展が開催されています。動物をテーマにした温かな作品が並び、写真集もついに発行されました。お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。



■代休のお知らせ

12/22 (月) は楽楽楽文化祭の代休になります。

■オープンスタジオ

12/6 (月)・12/28日 (日)

■年末のお知らせ

12/27 (土)～1/4 (日) までお休みです。



Ai News Paper

Event & Program

■「楽楽楽文化祭」が開催されました



昨年12月に開催された「楽楽楽文化祭」コンサートあり、マルシェあり、大盛況のワークショップなど楽しいことがいっぱい2日間。みなさんのご来場、誠にありがとうございました。

■「みやぎチャレンジプロジェクト」寄付のお願い



赤い羽根共同募金と一緒に、活動をアピールしながら寄付のお願いを行っています。頂いたご寄付は、宮城県共同募金会を通じて、Aiの活動に必要な画材や機材の購入、事業所内ギャラリーでの個展開催、次回の仙台七夕飾りの制作・提出などに活用されます。これまで支えてくださっている皆様に感謝申し上げます。とともに、新たに支えてくださる方も広く募集しております。期間は2026年2月28日(土)までです。みなさんの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

■オモテの説明/「書き初め」2026年



2026年の初まりは恒例の「書き初め」をしました。みんなの想いを込めた「書」の腕前をどうぞご覧ください。作品それぞれに一人ひとりの個性が光ります。

エーアイニュースペーパー

2026年1月号/vol.82

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー
コウセイ、Sin G・M

■「きいて、みて、して、見本市。」



1/30(金)~2/4(水)

10:00-18:00

せんだいメディアテーク1階
オープンスクエア 他

「障害のある人と芸術文化活動」に関する多様な個人・団体・活動を紹介する見本市です。

アート・インクルージョンは2企画に参加します。ぜひお越しください。

★ひだまりのギフト展での出店

★ニューカマーセブン2月3日(火)13:30~

(アート・インクルージョン・ファクトリーによるノイズ・セッション)



■「ほっぶの森フェスティバル」が開催されます



オープニングイベント

2/8(日)

10:00~15:00

ほっぶの森

展示企画

2/8(日)~28(土)

市内6会場



ほっぶの森全事業所とAiを会場にほっぶの森に関わる方々の表現やほっぶの森についての展示を行います。

■アニマルアーティストの作品集が販売中です



アニマルアーティスト作品集「WORKS」
A4判/全28ページ/2,500円

アニマルアーティストが心を込めて制作してきた作品を一冊にまとめた作品集「WORKS」がついに発行されました。動物たちの命や表情、温かな世界観が丁寧に表現された作品を一つ一つ撮影し、創作の歩みや想いが感じられる一冊です。ページをめくると物語のように作品の魅力が広がり、見る人、それぞれの感じ方で楽しんでいただけます。この作品を通して、新たな発見や心あたたまる時間に出会うこと間違いありません。

■オンライン企画Vol.62

1/21(水)

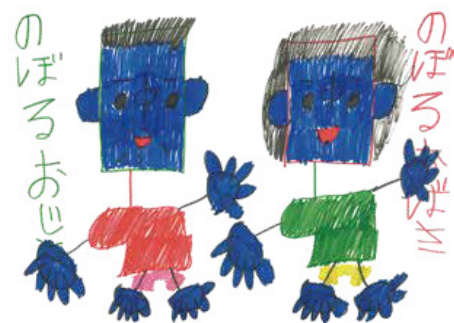
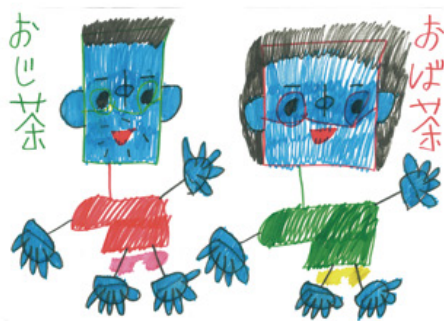
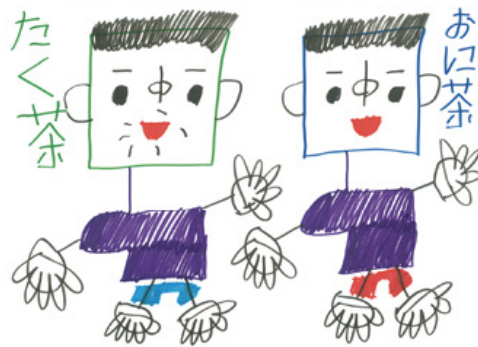
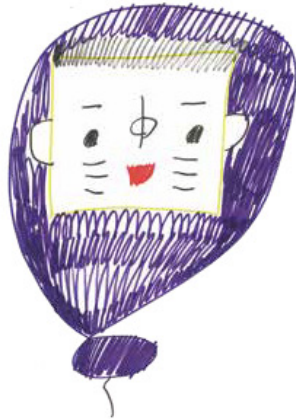
■オープンスタジオ

1/24(土)・2/7(土)

Ai News Paper

エーアイニュースペーパー

2026年2月号 / vol.83



Ai News Paper

エーアイニュースペーパー
2026年3月号/vol.84



Ai News Paper

Event & Program

エーアイニュースペーパー

2026年3月号/vol.84

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー
コウセイ、Sin G・M

■見本市で「ノイズ・セッション」パフォーマンス



2/4まで「せんだいメディアテーク1階オープンスクエア」で開催された『第8回 きて、みて、して、見本市。』にて、ニューカマーセブンとして作品展示と「ノイズ・セッション」のパフォーマンスを披露しました。会期中は多くの来場者が足を止め、展示作品や制作背景についてたくさんの方と対話が生まれました。「ノイズ・セッション」では、身近にある物を楽器として用い、その場で生まれる音に呼応しながら即興演奏を行いました。予測不能な音の重なりが空間全体を包み込み、Aiスタッフそれぞれの感情や表現が音として立ち上がる、印象的なパフォーマンスとなりました。表現の多様性や可能性を伝える貴重な時間でした。

当日の様子はYouTubeでご覧ください ▶

■まぜこぜフェスタに参加しました



障害のある人もない人も、あらゆる人が楽しめる「まぜこぜフェスタ」が、ゼビオアリーナ仙台で開催されました。会場では、シンボルツリー「まぜこぜの木」を来場者のみなさんと一緒に制作しました。このアートワークショップは、2009年頃から各地で行ってきた取り組みで、「いつでも・誰でも・何人でも参加でき、それぞれが思い思いにデコレーションしたものが、ひとつの作品になる」というコンセプトのもと続けてきました。今回は過去最多となる300個のプラダンブロックを用意し、終了前にすべてがデコレーションされ、「まぜこぜの木」の大切なパーツとなりました。ここでデコってもらったブロックはまた別の場所で別の何かになっています。

■オモテの写真/KASUMI

Aiギャラリーでは、3月より「KASUMI展」を開催いたします。毎日欠かさず絵を描き続けるKASUMIさん。躍動感あふれる人物や生き物、愛らしい建物や乗り物など真っ白な紙の上に、いきいきとした世界を創り出しています。

■「お花見マルシェ」を開催いたします



3/28 (土)のみ

11:00-15:00

ぶらんど〜む一番町
アーケード内

子どもも大人もみんな誰でも参加できる楽しいこといっぱいの「お花見マルシェ」が開催されます。当日は福祉事業所のオリジナル雑貨やお菓子などの販売のほか、ポッチャの体験やさまざまなワークショップが行われます。当日は突然アーケード内を練り歩く特別ゲストの出現で会場を盛り上げます。親子で楽しめる企画が盛りだくさんですので、ぜひお友達やご家族と一緒に足を運んで、楽しいひとときをお過ごしください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

■たくさんのご支援ありがとうございました



赤い羽根共同募金「みやぎチャレンジプロジェクト」に、温かいご支援をいただきありがとうございました。おかげさまで目標金額を達成することができました。皆さまから寄せいただいた募金は、一番町商店街アーケード内で実施するイベントや、制作した七夕飾りを仙台七夕にてぶらんど〜む一番町アーケードへ展示する取り組みに活用させていただきます。

また、長町地域でのアート企画やイベント開催、Aiギャラリーほか、各所での展示、個展開催、技術向上のためのアートプログラムの実施、制作のための画材購入など、創作環境の充実と地域交流の推進に大切に役立ててまいります。今後も地域の皆さまとともに歩み、活動の輪をさらに広げてまいります。皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げますとともに、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■オープンスタジオ

3/20 (金)

■オンライン企画Vol.63

3/25 (水)